

一般演題

■日時:11月26日(木) 16:00~16:50

■会場:第2会場 (白鳥ホール(南))

O1 複製1

座長 中山英美

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

鈴木陽一

(京都大学ウイルス研究所宿主要因解析チーム)

■日時:11月26日(木) 17:00~17:40

■会場:第2会場 (白鳥ホール(南))

O2 複製2

座長 野間口雅子

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野)

櫻木淳一

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

O1-001 HIV-1 増殖過程におけるインテグラーゼ (IN) C末端領域 (CTD) の影響

三宅在子、野間口雅子、土肥直哉、
藤原佐知、足立昭夫

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野

O2-006 Rab 蛋白質とそのエフェクター蛋白質の HIV-1 粒子形成における役割 (Rab7 を中心に)

村上 努¹⁾、呉 鴻規^{1,2)}、富田香織¹⁾、
伯川冬美¹⁾、駒野 淳¹⁾、千葉 丈²⁾、
山本直樹¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) 東京理科大学基礎工学部生物工学科

O1-002 HIV-1 インテグラーゼおよび Gemin2/SIP1 の逆転写過程への直接関与とその作用機序

増田貴夫¹⁾、西辻裕紀^{1,2)}、高橋卓也^{1,3)}、
宮野正史¹⁾、林 隆也¹⁾、長谷川温彦¹⁾、
神奈木真理¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学講座、2) 千葉工業大学大学院工学研究科、3) 東京医薬専門学校

O2-007 サル指向性 HIV-1 のサル細胞でのウイルス増殖におけるカプシド α -ヘリックス 6-7 間のループの重要性

黒石 歩¹⁾、齊藤 暁²⁾、新開泰宏¹⁾、
塩田達雄¹⁾、野間口雅子³⁾、足立昭夫³⁾、
明里宏文²⁾、中山英美¹⁾

1) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野、
2) 医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター、3) 徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原

O1-003 潜伏感染 HIV の維持における Histone H3 Lysine 9 ジメチル化酵素 G9a の役割

今井健一、戸上博昭、岡本 尚

名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物

O2-008 HIV-1 前駆体蛋白質切断部位の構造特性と切断効率の関連

大出裕高、横山 勝、神田忠仁、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

O1-004 プロモーター領域をターゲットとした shRNA による特異的 HIV-1 gene silence

鈴木一雄¹⁾、石田尚臣²⁾、山岸 誠³⁾、
Cooper, David¹⁾、Kelleher, Anthony¹⁾、
渡邊俊樹³⁾

1) St Vincent's Centre for Applied Medical Research、
2) 早稲田大学先端生命医科学センター、3) 東京大学医科学研究所

O2-009 HIV-1 Env V3 ループ構造の安定性を制御するアミノ酸

横山 勝¹⁾、大出裕高¹⁾、野間口雅子²⁾、
神田忠仁¹⁾、足立昭夫²⁾、佐藤裕徳¹⁾

1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター、
2) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野

O1-005 HIV-1 ゲノム二量体化と粒子成熟ステップの相関

櫻木淳一¹⁾、大石真久¹⁾、中野隆史²⁾、
櫻木小百合¹⁾、佐野浩一²⁾、塩田達雄¹⁾

1) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野、
2) 大阪医科大学医学部予防社会医学講座

一般演題

■日時:11月26日(木) 9:10~10:10

■会場:第3会場 (国際会議室)

O3 MSM 1

座長 山田 創平

(京都精華大学人文学部)

木村博和

(横浜市健康福祉局保健事業課)

O3-010 日本成人男性におけるMSM (Men who have sex with men)人口の推定

塩野徳史^{1,2)}、市川誠一¹⁾、金子典代¹⁾、
コーナ・ジェーン^{1,2)}、新ヶ江章友^{1,2)}、
伊藤俊広³⁾

1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 国立病院機構仙台医療センター

O3-011 日本在住成人男性を対象とした男性同性間の性行動・性意識調査 ー MSM人口に関する海外の調査と日本との比較からー

コーナ・ジェーン、塩野徳史、金子典代、
新ヶ江章友、市川誠一

名古屋市立大学大学院看護学研究科

O3-012 インターネット利用MSMの行動疫学調査 REACH Online 2008ー第1報ー MSM ツーリズムの現状

日高庸晴¹⁾、本間隆之²⁾、木村博和³⁾

1) 関西看護医療大学看護学部、2) 山梨県立大学看護学部、
3) 横浜市健康福祉局保健事業課

O3-013 インターネット利用MSMの行動疫学調査 REACH Online 2008ー第2報ー 性感染症罹患者の特性

本間隆之¹⁾、日高庸晴²⁾、木村博和³⁾

1) 山梨県立大学看護学部、2) 関西看護医療大学看護学部、
3) 横浜市健康福祉局保健事業課

O3-014 MSMによるハッテン場での性交渉の意味づけー男性同性間性交渉によるHIV感染の予防介入にまつわる示唆ー

山崎浩司¹⁾、横山葉子²⁾、日高庸晴³⁾

1) 東京大学大学院人文社会系研究科、2) 京都大学大学院医学研究科、3) 関西看護医療大学看護学部

O3-015 商業施設を利用するMSM (Men who have Sex with Men) 向けHIV感染予防プログラムの開発に関する形成的研究

山田創平¹⁾、鬼塚哲郎²⁾、辻 宏幸³⁾、
後藤大輔³⁾、鍵田いずみ³⁾、内田 優³⁾、
町 登志雄³⁾、塩野徳史⁴⁾、市川誠一⁴⁾

1) 京都精華大学、2) 京都産業大学、3) MASH大阪、
4) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

■日時:11月26日(木) 10:20~11:40

■会場:第3会場 (国際会議室)

O4 コミュニティ

座長 東 優子

(大阪府立大学人間社会学部)

鬼塚哲郎

(京都産業大学)

O4-016 東北地域における男性同性間の HIV 感染対策 ーゲイ・ボランティアグループ「やろっこ」の活動展開ー

太田 貴¹⁾、伊藤俊広²⁾、金子典代³⁾、
小浜耕治¹⁾

1) 東北 HIV コミュニケーションズ・やろっこ、2) 国立病院機構仙台医療センター、3) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

O4-017 携帯電話によるRDS法を用いた首都圏での啓発プログラムの評価

金子典代¹⁾、岩橋恒太²⁾、張 由紀夫³⁾、
荒木順子³⁾、砂川秀樹²⁾、塩野徳史¹⁾、
コーナ・ジェーン¹⁾、生島 嗣²⁾、
佐藤未光³⁾、市川誠一¹⁾

1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、2) ぶれいす東京、
3) RainbowRing、4) 財団法人エイズ予防財団

O4-018 新宿2丁目における予防啓発プログラムの効果の検討:その1 ーデリヘルインタビューからー

木南拓也^{1,2)}、張 由紀夫^{1,2)}、荒木順子^{1,2)}、
河邊宗知¹⁾、柴田 恵¹⁾、佐藤未光^{1,3)}、
木村博和⁴⁾、市川誠一⁵⁾

1) Rainbow Ring、2) 財団法人エイズ予防財団、3) ひかりクリニック、4) 横浜市健康福祉局保健政策課、5) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

一般演題

04-019 新宿2丁目における予防啓発プログラムの効果の検討: その2 —バーアンケート調査から—

河邊宗知¹⁾、張 由紀夫^{1,2)}、荒木順子^{1,2)}、
柴田 恵¹⁾、木南拓也^{1,2)}、岩橋恒太⁶⁾、
塩野徳史⁵⁾、金子典代⁵⁾、佐藤末光^{1,3)}、
木村博和⁴⁾、市川誠一⁵⁾

1) Rainbow Ring、2) 財団法人エイズ予防財団、3) ひかりクリニック、4) 横浜市健康福祉局保健政策課、5) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、6) ぶれいす東京

04-020 MSM コミュニティセンター「かながわ レインボーセンター SHIP」と教育機関 との連携

星野慎二^{1,2)}、桜井亮介^{1,2)}、吉仲 崇^{1,2)}、
佐藤翔太^{1,2)}、長野 香^{1,2)}、宮島謙介^{1,2)}

1) 横浜 Cruise ネットワーク、2) かながわレインボーセンター SHIP

04-021 福岡におけるゲイ向け商業施設利用者を 対象とした質問紙調査

新ヶ江章友^{1,2)}、金子典代²⁾、塩野徳史^{1,2)}、
牧園祐也³⁾、川本大輔³⁾、新納利弘³⁾、
濱田史朗³⁾、橋口 卓³⁾、北村紀代子³⁾、
山本政弘⁴⁾、市川誠一²⁾

1) 財団法人エイズ予防財団、2) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、3) Love Act Fukuoka (LAF)、4) 国立病院機構九州医療センター

04-022 セックスワーカーの保健行動阻害要因: コミュニティ参加型プログラムの 開発に向けた一考察

東 優子¹⁾、榎本てる子¹⁾、青木理恵子¹⁾

1) 大阪府立大学人間社会学部、2) 関西学院大学神学部、3) CHARM

04-023 青年期女性における金銭が介在する性 行動とセクシュアルヘルスの問題: web アンケート結果から

野坂祐子¹⁾、東 優子²⁾

1) 大阪教育大学、2) 大阪府立大学

■日時:11月26日(木) 9:10~10:00

■会場:第4会場 (会議室431+432)

05 感染機構 1

座長 森川裕子

(北里大学北里生命科学研究所)

村上 努

(国立感染症研究所エイズ研究センター 第三室)

05-024 CCR5 高発現細胞で複製能が亢進する HIV-1^{H305T/T314A} の性質

遊佐敬介、門出和精、前田洋助、原田信志

熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御

05-025 Single molecular imaging of CXCR4 and CD4 in living cells

Chandra Nath Roy¹⁾、今村淳治¹⁾、
権田幸祐²⁾、Promjunyakul Warunya¹⁾、
服部俊夫¹⁾、樋口秀夫³⁾、鈴木康弘¹⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染病態学分野、2) 東北大学医学系研究科ナノ医科学寄附講座、3) 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻生物物理分野

05-026 HIV-1 p2 peptide のポストエン トリー過程における役割に関する解析

小川実菜子¹⁾、角 真太郎¹⁾、高宗暢暁¹⁾、
杉本幸彦¹⁾、庄司省三^{1,2)}、三隅将吾¹⁾

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部薬学生化学分野、2) 熊本保健科学大学

05-027 HIV カプシド (CA) コア特異的リン酸 化を介した HIV 脱殻過程の解析

井上睦美¹⁾、高宗暢暁¹⁾、杉本幸彦¹⁾、
庄司省三^{1,2)}、三隅将吾¹⁾

1) 熊本大学医学薬学研究部薬学生化学分野、2) 熊本保健科学大学

05-028 HIV-1 低感受性ヒトCD4陽性T細胞 株のアクチン重合阻害剤による感染増 強

前田洋助、遊佐敬介、原田信志

熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御

一般演題

■日時:11月26日(木) 10:00~10:40

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O6 感染機構 2

座長 今井健一

(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

佐藤裕徳

(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)

O6-029 HIV-1 Gag 関連蛋白質および Nef とイノシトールリン酸類との結合解析

福田亮太¹⁾、安楽健作²⁾、大塚雅巳¹⁾、
藤田美歌子³⁾

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部生体機能分子合成学分野、2) 熊本保健科学大学保健科学部衛生技術学科、3) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

O6-030 HIV 感染過程における DNA 修復酵素の役割

櫻井康晃¹⁾、小松賢志²⁾、上松一永³⁾、
松岡雅雄¹⁾

1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス制御研究領域、2) 京都大学放射線生物研究センターゲノム動態研究部門、3) 信州大学医学研究科感染防御学

O6-031 Single molecular level imaging of Tat-PTD in living cells: Part 1

鈴木康弘¹⁾、今村淳治¹⁾、権田幸祐²⁾、
Nath Roy Chandra¹⁾、
Promjunyakul Warunya¹⁾、服部俊夫¹⁾、
樋口秀夫³⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染病態学分野、2) 東北大学医学系研究科ナノ医科学寄附講座、3) 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻生物物理分野

O6-032 Single molecular level imaging of Tat-PTD in living cells: Part 2

今村淳治¹⁾、権田幸祐²⁾、
Nath Roy Chandra¹⁾、
Promjunyakul Warunya¹⁾、樋口秀夫³⁾、
服部俊夫¹⁾、鈴木康弘¹⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染病態学分野、2) 東北大学医学系研究科ナノ医科学寄附講座、3) 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻生物物理分野

■日時:11月26日(木) 10:50~11:30

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O7 感染機構 3

座長 朝光かおり

(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

遊佐敬介

(熊本大学大学院医学薬学研究部)

O7-033 HIV-1 感染細胞の体内播種と in vivo imaging - 1

青木宏美¹⁾、楢田伸好¹⁾、中村太平¹⁾、
服部真一郎²⁾、岡田誠治²⁾、満屋裕明¹⁾

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部、2) 熊本大学エイズ学センター予防開発分野

O7-034 HIV-1 感染細胞の体内播種と in vivo imaging - 2

楢田伸好¹⁾、青木宏美¹⁾、中村太平¹⁾、
服部真一郎²⁾、岡田誠治²⁾、満屋裕明¹⁾

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部、2) 熊本大学エイズ学センター予防開発分野

O7-035 休止期 PBMC における HIV-1 感染防御機構の解析

植田知幸、加藤真吾

慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

O7-036 イムノクロマト法を用いた HIV-1 p24 抗原検出キットの作製

今村志穂子^{1,2)}、田中礼子¹⁾、田中勇悦¹⁾

1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学分野、2) 株式会社トロピカルテクノセンター

■日時:11月26日(木) 13:30~14:20

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O8 薬剤耐性 1

座長 吉田 繁

(北海道大学大学院保健科学研究院)

大出裕高

(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)

O8-037 感染細胞内で HIV コンポーネントの自壊をもたらす機序の解明

天野将之、こう康博、田宮貞弘、満屋裕明

熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部

一般演題

08-038 ウイルス酵素の構造変形に関する系統解析

星野忠次¹⁾、藍壇 愛¹⁾、原田壮一郎¹⁾、
杉浦 亙²⁾

1) 千葉大学薬学研究院、2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

08-039 酵素活性を指標とした新規の HIV プロテアーゼ阻害剤耐性検査法の基盤技術の開発

正岡崇志^{1,3,6)}、梁 明秀^{1,2)}、巽 正志¹⁾、
杉浦 亙^{1,3)}、松永智子⁴⁾、森下 了⁵⁾、
澤崎達也⁴⁾、山本直樹¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) 横浜市立大学医学部微生物学、3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部、4) 愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター、5) 株式会社セルフリーサイエンス、6) エイズ予防財団リサーチレジデント

08-040 宿主内 HIV-1 の共進化変異の解析：Protease 阻 害 剤 耐 性 変 異 D30N/N88D と p1/p6 切断領域の P453L 変異の相互干渉の意義

柴田潤子¹⁾、杉浦 亙^{2,3)}、岩谷靖雅²⁾、
Hsinyi Tsang²⁾、松田昌和³⁾、
長谷川直樹¹⁾ 任 鳳蓉¹⁾、田中 博¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院生命情報科学教育部、2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

08-041 複数のプロテアーゼ阻害剤耐性臨床 HIV 分離株を用いて誘導した tipranavir 高度耐性変異株の解析

青木 学^{1,2)}、こう康博¹⁾、井手一彦¹⁾、
天野将之¹⁾、東條 靖¹⁾、
Matthew L. Danish¹⁾、青木宏美¹⁾、
満屋裕明^{1,3)}

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部、2) 熊本保健科学大学保健科学部衛生技術学科、3) 米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症部

■日時:11月26日(木) 14:30~15:10

■会場:第4会場 (会議室431+432)

09 薬剤耐性 2

座長 吉村和久

(熊本大学エイズ学研究センター病態制御)

森 治代

(大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課)

09-042 最近分離した 7 種の臨床 HIV-1 株を用いた in vitro ラルテグラビル耐性ウイルス誘導

原田恵嘉、吉村和久、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター病態制御学分野

09-043 インテグラーゼ阻害剤耐性化機序の分子生物学的解析

鈴木寿子¹⁾、服部純子²⁾、村田大吾^{1,2)}、
三浦秀佳¹⁾、伊部史朗²⁾、藤野真之¹⁾、
西澤雅子¹⁾、山本直樹¹⁾、杉浦 亙^{1,2)}

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) 国立病院機構名古屋医療センター

09-044 実験室 HIV-1 R5 株を用いた in vitro CCR5 阻害剤 (maraviroc) 耐性ウイルス誘導の試み

石川哲也、畑田万紀子、原田恵嘉、
吉村和久、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野

09-045 HIV-1 逆転写酵素 V106I/V179D 変異による NNRTI 活性変化の分子機序

大出裕高¹⁾、横山 勝¹⁾、蜂谷敦子²⁾、
岡 慎一²⁾、神田忠仁¹⁾、湯永博之²⁾、
佐藤裕徳¹⁾

1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター、2) 国立国際医療センター

一般演題

■日時:11月26日(木) 15:20~16:00

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O10 薬剤耐性3

座長 服部純子

(国立病院機構名古屋医療センター)

西澤雅子

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

O10-046 2003-2008年の新規HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性頻度の動向

服部純子^{1,2)}、渦永博之³⁾、吉田 繁⁴⁾、
千葉仁志⁴⁾、小池隆夫⁴⁾、佐々木悟⁵⁾、
伊藤俊広⁵⁾、内田和江⁶⁾、原 孝⁷⁾、
佐藤武幸⁸⁾、上田敦久⁹⁾、石ヶ坪良明⁹⁾、
近藤真規子¹⁰⁾、今井光信^{10,11)}、長島真美¹²⁾、
貞升健志¹²⁾、古賀一郎¹³⁾、太田康男¹³⁾、
山元泰之¹⁴⁾、福武勝幸¹⁴⁾、田中理恵¹⁵⁾、
加藤真吾¹⁵⁾、宮崎菜穂子^{2,16)}、藤井 毅¹⁶⁾、
岩本愛吉¹⁶⁾、西澤雅子¹⁷⁾、仲宗根正¹⁷⁾、
巽 正志¹⁷⁾、椎野禎一郎¹⁷⁾、林田庸総³⁾、
岡 慎一³⁾、伊部史朗¹⁾、藤崎誠一郎¹⁾、
金田次弘¹⁾、横幕能行¹⁾、濱口元洋¹⁾、
上田幹夫¹⁸⁾、大家正義¹⁹⁾、田邊嘉也¹⁹⁾、
渡辺香奈子²⁰⁾、渡邊 大²¹⁾、矢倉裕輝²¹⁾、
白阪琢磨²¹⁾、桑原 健²²⁾、小島洋子²³⁾、
森 治代²³⁾、中桐逸博²⁴⁾、高田 昇²⁵⁾、
木村昭郎²⁵⁾、南 留美²⁶⁾、山本政弘²⁶⁾、
松下修三²⁷⁾、藤田次郎²⁸⁾、健山正男²⁸⁾、
堀 成美²⁹⁾、杉浦 亙^{1,17)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター、2) 財団法人エイズ
予防財団、3) 国立国際医療センター、4) 北海道大学、
5) 国立病院機構仙台医療センター、6) 埼玉県衛生研究所、
7) 茨城県衛生研究所、8) 千葉大学、9) 横浜市立大学、
10) 神奈川県衛生研究所、11) 田園調布学園大学、12) 東京
都健康安全研究センター、13) 帝京大学、14) 東京医科
大学、15) 慶応義塾大学、16) 東京大学医科学研究所、
17) 国立感染症研究所、18) 石川県立中央病院、19) 新潟
大学、20) 新潟県保健環境科学研究所、21) 国立病院機
構大阪医療センター、22) 国立病院機構京都病院、23) 大
阪府立公衆衛生研究所、24) 川崎医科大学、25) 広島大学
病院、26) 国立病院機構九州医療センター、27) 熊本大
学、28) 琉球大学、29) 聖路加看護大学

O10-047 未治療時の薬剤耐性検査でK65Nを認 めた1例のHIV RNA遺伝子解析

古賀一郎、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

O10-048 PCR-MS法を用いた新規感染者血漿 中の薬剤耐性微少集団の定量

須藤弘二¹⁾、杉浦 亙²⁾、加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室、2) 国立病
院機構名古屋医療センター

O10-049 Genotypic Resistance Mutations to Antiretrovirals among Treatment-naïve HIV-1- infected Individuals in Northern Vietnam

Chung Phan TT¹⁾、石崎有澄美¹⁾、
Cuong NguyenHung²⁾、Xiuqiong Bi¹⁾、
岡 慎一³⁾、市村 宏¹⁾

1) 金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学、
2) ハイフォン医科大学、3) 国立国際医療センターエイズ
治療・研究開発センター

■日時:11月26日(木) 16:10~17:00

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O11 分子疫学1

座長 石川晃一

(東京医科歯科大学新興再興感染症国際共同研究拠点/国立感染
症研究所エイズ研究センター)

藤崎誠一郎

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

O11-050 コンゴ共和国ウェスト・キュヴェット 州におけるHIVの分子疫学調査

井戸栄治¹⁾、Chocolat Jean-Raoul²⁾、
Niama Fabien³⁾、
Mombouli Jean-Vivien³⁾、多田哲子¹⁾、
梅原 綾¹⁾、岩元静香¹⁾、
Parra Henri-Joseph³⁾

1) 京都大学ウイルス研究所新興ウイルス感染症研究セン
ター、2) Ewo Hospital, Republic of Congo、3) Laboratoire
National de Sante Publique, Republic of Congo

O11-051 コンゴ民主共和国東部に位置する南キ ヴ州におけるHIVの分子疫学

井戸栄治¹⁾、多田哲子¹⁾、
Karhemere Stormy²⁾、
Imani Masimango³⁾、岩元静香¹⁾、
梅原 綾¹⁾、Kashongwe Zaccharie³⁾、
Muyembe Jean-Jacques²⁾

1) 京都大学ウイルス研究所新興ウイルス感染症研究セン
ター、2) National Institute of Biomedical Research, DRC、
3) Bukavu General Hospital, DRC

一般演題

011-052 Analysis of near full-length genome sequences of CRF33_01B from Indonesian patients

San Bandar Ivo Novita^{1,2)}、高橋清実¹⁾、
本村和嗣³⁾、長縄 聡^{4,5)}、北村勝彦⁵⁾、
佐藤裕徳³⁾、佐藤成大¹⁾

1) 岩手医科大学医学部細菌学、2) Division of Tropical and Infectious Diseases, School of Medicine, University of Indonesia、3) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター、4) 東京都臨床医学総合研究所、5) 横浜市立大学医学部社会予防医学

011-053 ベトナム国ハイフォン市における HIV-1 と肝炎ウイルスの動向

石崎有澄美¹⁾、Cuong NguyenHung²⁾、
Chung Phan TT¹⁾、Raphael Lihana¹⁾、
松下香織¹⁾、Xiuqiong Bi¹⁾、岡 慎一³⁾、
市村 宏¹⁾

1) 金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学、
2) ハイフォン医科大学、3) 国立国際医療センター

011-054 Two Clusters of HIV-1 Subtype B infection in Mongolia

Davaalkham, Jagdagsuren、土屋亮人、
潟永博之、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

■日時:11月26日(木) 17:10~18:00

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O12 分子疫学2

座長 伊部史朗

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

椎野禎一郎

(国立感染症研究所感染症情報センター)

012-055 CRF15_01B の起源を巡る謎:HIV-1 組換えの preferred configuration

武部 豊、Li Yue、長谷彩希、上西理恵、
廖 華南、Tee Kok Keng

国立感染症研究所エイズ研究センター

012-056 BED アッセイを用いた名古屋医療センターにおける新規 HIV 感染者の動向調査

重見 麗¹⁾、服部純子^{1,2)}、保坂真澄¹⁾、
伊部史朗¹⁾、藤崎誠一郎¹⁾、横幕能行¹⁾、
濱口元洋¹⁾、内海 眞¹⁾、岩谷靖雅¹⁾、
杉浦 亙^{1,3)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 国立感染症研究所

012-057 国内感染者集団の大規模塩基配列データから推測される HIV 集団サイズの経時的变化

椎野禎一郎^{1,2)}、貞升健志³⁾、長島真美³⁾、
服部純子^{4,5)}、杉浦 亙^{2,4)}

1) 国立感染症研究所感染症情報センター、2) 国立感染症研究所エイズ研究センター、3) 東京都健康安全研究センター微生物部、4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、5) 財団法人エイズ予防財団

012-058 HIV/HBV 重複感染者における HBV genotype 解析および薬剤耐性アミノ酸変異の検出

藤崎誠一郎、横幕能行、服部純子、
伊部史朗、内海 眞、濱口元洋、岩谷靖雅、
杉浦 亙

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

012-059 日本における HIV-2 感染症の分子疫学的解析

伊部史朗¹⁾、横幕能行¹⁾、椎野禎一郎²⁾、
田中理恵³⁾、服部純子¹⁾、藤崎誠一郎¹⁾、
岩谷靖雅¹⁾、間宮均人¹⁾、内海 眞¹⁾、
加藤真吾³⁾、濱口元洋¹⁾、杉浦 亙¹⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター、3) 慶應義塾大学医学部

■日時:11月26日(木) 9:10~10:10

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O13 医療体制1

座長 松浦基夫

(市立堺病院腎代謝免疫内科)

健山正男

(琉球大学)

013-060 治療がなかった時代における患者へのアプローチと考察

牧江俊雄

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

一般演題

013-061 急性感染者の早期発見の促進に関する倫理的な課題について

大北全俊^{1,3)}、白阪琢磨¹⁾、渡邊 大²⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター、2) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部 HIV 感染制御研究室、3) 財団法人エイズ予防財団

013-062 HIV 感染症患者のプライバシーに関する意識 ー本院通院患者におけるアンケート調査よりー

藤井輝久¹⁾、齊藤誠司^{2,4)}、鍵浦文子²⁾、小川良子³⁾、高田 昇^{1,2)}、木村昭郎⁴⁾

1) 広島大学病院輸血部、2) 広島大学病院エイズ医療対策室、3) 広島大学病院看護部、4) 広島大学病院血液内科

013-063 7 薬剤以上の多剤投与における薬剤料 9 割算定の問題について

櫻井祐一¹⁾、山元泰之²⁾、鈴木隆史²⁾、天野景裕²⁾、香川和彦²⁾、吉峰佑一郎¹⁾、小美野邦夫¹⁾、福武勝幸²⁾

1) 東京医科大学病院医事課、2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

013-064 診療所における HIV 感染症診療の試みー 2

根岸昌功、河村祐貴子、野田和子、荒金和子
ねぎし内科診療所

013-065 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移

白阪琢磨¹⁾、日笠 聡²⁾、岡 慎一³⁾、川戸美由紀⁴⁾、吉崎和幸⁵⁾、木村 哲⁶⁾、福武勝幸⁷⁾、橋本修二⁴⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター、2) 兵庫医科大学 血液内科、3) 国立国際医療センター戸山病院 エイズ治療・研究開発センター、4) 藤田保健衛生大学 医学部 衛生学、5) 大阪大学 先端科学イノベーションセンター、6) 東京通信病院、7) 東京医科大学 臨床検査医学

■日時:11月26日(木) 10:10~10:50

■会場:第 5 会場 (会議室141+142)

014 医療体制 2

座長 根岸昌功

(ねぎし内科診療所)

山中京子

(大阪府立大学人間社会学部)

014-066 麻酔科医を対象とした手術時使用薬と抗HIV薬との相互作用理解のための研修会について

安田明子¹⁾、表 志穂¹⁾、亀井勝一郎¹⁾、山田三枝子^{2,4)}、辻 典子^{2,4)}、上田幹夫³⁾

1) 石川県立中央病院薬剤部、2) 石川県立中央病院、3) 石川県立中央病院血液免疫内科、4) 財団法人エイズ予防財団

014-067 HIV 医療におけるヘルスケアチームに関する研究 ーブロック拠点病院のチームメンバーに対するアンケート調査結果よりー

山中京子¹⁾、小西加保留²⁾、白阪琢磨³⁾

1) 大阪府立大学人間社会学部、2) 関西学院大学人間福祉学部、3) 国立病院機構大阪医療センター

014-068 ブロック拠点病院における HIV 感染症患者の精神科受診状況に関する研究

安尾利彦¹⁾、仲倉高広¹⁾、森田眞子¹⁾、大谷ありさ¹⁾、藤本恵里¹⁾、倉谷昂志^{1,2)}、宮本哲雄^{1,2)}、廣常秀人¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター、2) 財団法人エイズ予防財団

014-069 北陸ブロック「職種別 HIV/AIDS 連絡・研修会」の現状と問題点

上田幹夫¹⁾、宮田 勝¹⁾、小谷岳春¹⁾、山下博子¹⁾、安田明子¹⁾、村田秀治¹⁾、原田範子¹⁾、片田圭一¹⁾、山下美津江¹⁾、山田三枝子^{1,2)}、北 志保里^{1,2)}、辻 典子^{1,2)}、浅井いつみ¹⁾、木越安奈¹⁾

1) 石川県立中央病院 HIV 診療チーム、2) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

一般演題

■日時:11月26日(木) 13:30~14:40

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O15 抗HIV療法(新薬1)

座長 鯉渕智彦

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

木内 英

(荻窪病院)

O16-078 Raltegravir を含む多剤併用療法の効果と有害事象

塚田訓久、照屋勝治、水島大輔、中村春香、青木孝弘、西島 健、柳沢邦雄、渡辺恒二、渡邊珠代、本田元人、田沼順子、矢崎博久、本田美和子、湯永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

O15-070 初回治療にダルナビルを使用した14例の検討

五十嵐 俊^{1,2)}、佐藤 歩²⁾、伏見友二²⁾、高尾良洋²⁾、吉村幸浩³⁾、倉井華子³⁾、立川夏夫³⁾

1) 横浜市立市民病院医療安全管理室、2) 横浜市立市民病院薬剤部、3) 横浜市立市民病院感染症内科

O15-071 多剤耐性獲得患者へのDarunavirとRaltegravir 併用療法に関する有効性・安全性・アドヒアランスの検討

森 尚義¹⁾、谷口晴記²⁾

1) 三重県立総合医療センター薬剤部、2) 三重県立総合医療センター産婦人科

O15-072 5度の薬剤変更を経てDarunavirとRaltegravirの併用が奏効した多剤耐性HIV感染症の1例

森 尚義¹⁾、谷口晴記²⁾

1) 三重県立総合医療センター薬剤部、2) 三重県立総合医療センター産婦人科

O15-073 不適切と考えながらもラルテグラビルを使用し治療効果を得た1例

坂部茂俊¹⁾、辻 幸太¹⁾、森尾志保²⁾、竹田久子²⁾

1) 山田赤十字病院内科、2) 山田赤十字病院看護部

O15-074 インテグラーゼ阻害剤ラルテグラビルのトラフ値と脂質代謝に関する検討

木下枝里¹⁾、池谷絵美¹⁾、寺畑奈美¹⁾、平野 淳¹⁾、高橋昌明¹⁾、野村敏治¹⁾、脇坂達郎²⁾、横幕能行²⁾、濱口元洋²⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科、2) 国立病院機構名古屋医療センター内科

O15-075 多剤耐性HIV感染者におけるRaltegravir長期使用における有効性と安全性の検討

花房秀次、木内 英、和田育子、石倉末緒、小島賢一

荻窪病院血液科

■日時:11月26日(木) 14:40~15:30

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O16 抗HIV療法(新薬2)

座長 田沼順子

(国立国際医療センター戸山病院 エイズ治療・研究開発センター)

宮川寿一

(熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部)

O16-076 Integrase inhibitor:Raltegravirの使用でHAARTが成功している多剤耐性HIV感染症の2例

伊藤俊広¹⁾、佐藤 功²⁾、三浦 明³⁾、浅黄 司⁴⁾、佐藤麻希⁵⁾、佐藤ともみ⁵⁾

1) 国立病院機構仙台医療センター内科、2) 真壁病院内科、3) 国立病院機構西多賀病院内科、4) 国立病院機構福島病院研究検査科、5) 国立病院機構仙台医療センター薬剤科

O16-077 当院における新規抗HIV薬(Raltegravir, Etravirine)の使用経験

上平朝子¹⁾、吉野宗宏²⁾、渡邊 大^{1,3)}、富成伸次郎¹⁾、谷口智宏¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、小川吉彦¹⁾、坂東裕基¹⁾、矢倉裕輝²⁾、笠井大介¹⁾、西田恭治¹⁾、白阪琢磨^{1,3)}

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科、3) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

一般演題

O16-079 琉球大学医学部附属病院における Raltegravir の使用経験

田里大輔、仲村秀太、照屋宏允、原永修作、
比嘉 太、健山正男、藤田次郎

琉球大学大学院医学研究科感染症制御学講座（第一内科）

O16-080 ラルテグラビル 34 例の臨床的検討

村松 崇¹⁾、山元泰之¹⁾、清田育男¹⁾、
四本美保子¹⁾、大瀧 学¹⁾、鈴木隆史¹⁾、
天野景裕¹⁾、香川和彦¹⁾、福武勝幸¹⁾、
山中 晃²⁾、青木 眞²⁾

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科、2) 新宿東口クリニック

O16-081 Etravirin を含む抗 HIV 療法に変更した 32 例の検討

立川夏夫、吉村幸浩、倉井華子

横浜市立市民病院感染症内科

■日時:11月26日（木） 15:40～16:30

■会場:第 5 会場 （会議室141+142）

O17 日和見感染症 1

座長 照屋勝治

（国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター）

古西 満

（奈良県立医科大学感染症センター）

O17-082 当院における HAART 時代の HIV 日和見合併症の動向

渡邊珠代¹⁾、安岡 彰²⁾、水島大輔¹⁾、
中村春香¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
柳沢邦雄¹⁾、渡辺恒二¹⁾、本田元人¹⁾、
矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、
本田美和子¹⁾、潟永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、
菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 長崎大学医学部歯学部附属病院感染制御教育センター

O17-083 ニューモシスチス肺炎 108 例の治療の検討

青木孝弘、西島 健、中村春香、柳沢邦雄、
渡辺恒二、水島大輔、渡邊珠代、本田元人、
塚田訓久、矢崎博久、田沼順子、
本田美和子、照屋勝治、潟永博之、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

O17-084 トキソプラズマ脳症の臨床的検討

Akihiko, Suganuma、柳澤如樹、今村顕史、
味澤 篤

東京都立駒込病院感染症科

O17-085 抗 HIV 治療中断中に発症した Cryptococcus neoformans 縦隔リンパ節炎の一例

河野真二、千葉明生、加藤哲朗、佐藤文哉、
堀野哲也、中澤 靖、吉川晃司、吉田正樹、
小野寺昭一

東京慈恵会医科大学感染制御部

O17-086 HAART 導入後に免疫再構築症候群として進行性多巣性白質脳症の増悪が疑われ、脳生検を施行した一例

稲垣里奈¹⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
今村顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾、岸田修二²⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科、
2) がん・感染症センター都立駒込病院脳神経内科

■日時:11月26日（木） 16:30～17:30

■会場:第 5 会場 （会議室141+142）

O18 日和見感染症 2

座長 安岡 彰

（長崎大学病院感染制御教育センター）

鳴河宗聡

（富山大学附属病院感染症治療部）

O18-087 東京医科大学病院における HIV 感染者に発症した帯状疱疹 70 症例の統計的検討

宝田英子¹⁾、斎藤万寿吉¹⁾、三橋善比古¹⁾、
山元泰之²⁾、福武勝幸²⁾、坪井良治¹⁾

1) 東京医科大学皮膚科、2) 東京医科大学臨床検査医学科

O18-088 当科における HIV 合併ノカルジア症の臨床的検討

照屋勝治、水島大輔、西島 健、中村春香、
青木孝弘、渡辺恒二、柳沢邦雄、渡邊珠代、
塚田訓久、本田元人、矢崎博久、田沼順子、
本田美和子、潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

一般演題

O18-089 HIV 感染症に合併した伝染性軟属腫の 6 例

末次香織、斎藤万寿吉、坪井良治
東京医科大学皮膚科学教室

O18-090 HIV 感染者に発症した日本紅斑熱の 1 例

坂部茂俊、戸野泰孝、辻 幸太
山田赤十字病院内科

O18-091 遺伝子解析が有用であったHIV関連赤痢アメーバ性脳膿瘍の救命例

宮地康高¹⁾、柳 富子¹⁾、武田泰明²⁾、
北村成大³⁾、大楠清文⁴⁾
1) 社会保険中央総合病院内科、2) 社会保険中央総合病院
脳外科、3) 社会保険中央総合病院病理、4) 岐阜大学大学
院医学系研究科病原体制御学分野

O18-092 Th1/Th2 バランスは免疫再構築症候群の診断に役立つか

善本英一郎^{1,2)}、古西 満²⁾、宇野健司²⁾、
笠原 敬²⁾、三笠桂一²⁾、安岡 彰³⁾
1) 奈良厚生会病院感染制御室、2) 奈良県立医科大学感染
症センター、3) 長崎大学附属病院感染制御教育センター

O19-094 派遣カウンセリング制度の拡大および安定運用への方策の明確化に関する研究

神谷昌枝¹⁾、石川雅子²⁾、山中京子³⁾
1) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課、2) 千葉県
健康福祉部健康増進課感染症対策室、3) 大阪府立大学人間
社会学部

O19-095 HIV 医療におけるカウンセリング制度の周知に関する研究

奥田剛士^{1,2)}、藤本恵里³⁾、大谷ありさ³⁾、
仲倉高広³⁾、安尾利彦³⁾、森田眞子³⁾、
山中京子¹⁾
1) 大阪府立大学人間社会学部、2) 財団法人エイズ予防財
団リサーチレジデント、3) 国立病院機構大阪医療センター

O19-096 初診患者へのカウンセリング導入に関する調査 第 1 報 HIV 専従看護師のアセスメントと精神健康スクリーニングの結果から

垣端美帆¹⁾、下司有加¹⁾、立花 泉¹⁾、
安尾利彦²⁾、仲倉高広³⁾、白阪琢磨⁴⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター看護部、2) 国立病院機
構大阪医療センター精神神経科、3) 国立病院機構大阪医療
センター感染症内科、4) 国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター

O19-097 初診患者へのカウンセリング導入に関する調査 第 2 報 HIV 専従看護師のアセスメントと精神健康スクリーニングの結果から

下司有加¹⁾、垣端美帆¹⁾、立花 泉¹⁾、
安尾利彦²⁾、仲倉高広³⁾、白阪琢磨⁴⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター看護部、2) 国立病院機
構大阪医療センター精神神経科、3) 国立病院機構大阪医療
センター感染症内科、4) 国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター

■日時:11月26日(木) 9:10~10:00

■会場:第 6 会場 (会議室131+132)

O19 カウンセリング体制

座長 小島賢一
(荻窪病院血液科)
矢永由里子
(財団法人エイズ予防財団)

O19-093 ワークショップ型介入を用いたカウ セリングの具体的導入方法の明確化に 関する研究 ーカウンセリング活用上の課題とその 主観的効果の検討ー

奥田剛士^{1,2)}、安尾利彦³⁾、山中京子¹⁾
1) 大阪府立大学人間社会学部、2) 財団法人エイズ予防財
団リサーチレジデント、3) 国立病院機構大阪医療センター

一般演題

■日時:11月26日（木） 10:10～11:10

■会場:第6会場（会議室131+132）

O20 HIV感染者のメンタルヘルスと心理職者の関わり

座長 古谷野淳子

（新潟大学医歯学総合病院感染管理部）

仲倉高広

（国立病院機構大阪医療センター臨床心理室）

O20-098 GHQ30 と SAMISS からみた HIV 感染症患者のメンタルヘルス

大谷ありさ¹⁾、倉谷昂志^{1,2)}、仲倉高広¹⁾、
藤本恵里¹⁾、宮本哲雄^{1,2)}、森田眞子¹⁾、
安尾利彦¹⁾、白阪琢磨³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

O20-099 HIV/AIDS 医療における神経心理学的検査の導入の実際

宮本哲雄^{1,2)}、仲倉高広¹⁾、安尾利彦¹⁾、
森田眞子¹⁾、大谷ありさ¹⁾、藤本恵里¹⁾、
倉谷昂志^{1,2)}、白阪琢磨³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室、2) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント、3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

O20-100 幻想的融合を求め故意に自らの健康を害する性行動が繰り返された HIV 感染症陽性者の心理療法について

理想的融合か死との融合かの分裂から
現実への適応に至った事例

仲倉高広¹⁾、白阪琢磨²⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科 / 臨床心理室、2) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

O20-101 HIV 感染者の QOL と精神心理的要因の関係について

牧野麻由子¹⁾、村松芳幸²⁾、田邊嘉也³⁾、
古谷野淳子¹⁾

1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部、2) 新潟大学医学部保健学科、3) 新潟大学医歯学総合病院第二内科

O20-102 実習生が HIV 陽性者とのインタビュー面接に抱く期待と、期待から捉えた事前講義の意義について

倉谷昂志^{1,2)}、仲倉高広¹⁾、森田眞子¹⁾、
安尾利彦¹⁾、大谷ありさ¹⁾、藤本恵里¹⁾、
宮本哲雄^{1,2)}、上平朝子³⁾、白阪琢磨⁴⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、4) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

O20-103 他職種との連携における心理職の専門性に関する研究 —HIVの心理臨床において「連携」は特別か？—

藤本恵里¹⁾、大谷ありさ¹⁾、仲倉高広¹⁾、
森田眞子¹⁾、安尾利彦¹⁾、倉谷昂志²⁾、
宮本哲雄²⁾、白阪琢磨³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 国立病院機構大阪医療センター HIV / AIDS 先端医療開発センター

■日時:11月26日（木） 11:10～12:00

■会場:第6会場（会議室131+132）

O21 医療とカウンセリング

座長 菊池恵美子

（財団法人エイズ予防財団／国立病院機構名古屋医療センター）

安尾利彦

（国立病院機構大阪医療センター）

O21-104 秋田県における HIV カウンセリング制度—中核拠点病院相談事業＋県事業としての発展

高田知恵子¹⁾、高橋義博²⁾、三浦一樹³⁾、
滝本法明⁴⁾

1) 秋田大学教育文化学部、2) 大館市立総合病院小児科、
3) 秋田赤十字病院呼吸器科、4) 秋田県健康推進課

O21-105 拠点病院のチーム医療にカウンセラーを導入する取り組み —新潟県内の実践報告—

牧野麻由子¹⁾、古谷野淳子¹⁾、田邊嘉也²⁾

1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部、2) 新潟大学医歯学総合病院第二内科

O21-106 エイズ治療中核拠点病院におけるカウンセリング（設置）事業の定着と発展に向けて

矢永由里子

財団法人エイズ予防財団

一般演題

021-107 HIV 医療に関わるカウンセリングの量の担保に関する研究 —拠点病院に勤務する心理職を対象にした調査より—

森田眞子¹⁾、仲倉高広¹⁾、安尾利彦¹⁾、大谷ありさ¹⁾、藤本恵里¹⁾、倉谷昂志^{1,2)}、宮本哲雄^{1,2)}、白阪琢磨³⁾、上平朝子⁴⁾、山中京子⁵⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター、4) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、5) 大阪府立大学人間社会学部

021-108 中核拠点病院におけるカウンセリング体制の現状把握および課題検討に関する研究 —診療医に対するアンケート調査結果より—

山中京子¹⁾、児玉憲一²⁾、奥田剛士^{1,3)}

1) 大阪府立大学人間社会学部、2) 広島大学大学院教育学研究科、3) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

■日時:11月26日(木) 13:30~14:40

■会場:第6会場 (会議室131+132)

022 臨床疫学

座長 濱口元洋

(国立病院機構名古屋医療センター)

本田美和子

(国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター)

022-109 多施設共同疫学調査における HAART の有効率

菊池 嘉¹⁾、岩本愛吉²⁾、佐藤典宏³⁾、伊藤俊広⁴⁾、田邊嘉也⁵⁾、横幕能行⁶⁾、上田幹夫⁷⁾、渡邊 大⁸⁾、藤井輝久⁹⁾、南 留美¹⁰⁾、宮城島拓人¹¹⁾、健山正男¹²⁾、中村仁美²⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野、3) 北海道大学病院高度先進医療センター、4) 国立病院機構仙台医療センター内科、5) 新潟大学大学院医歯学総合研究科臨床感染制御学分野、6) 国立病院機構名古屋医療センター、7) 石川県立中央病院血液免疫内科、8) 国立病院機構大阪医療センター、9) 広島大学病院輸血部、10) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症科、11) 独立行政法人勤労者福祉機構釧路労災病院、12) 琉球大学大学院医学研究科感染病態制御学講座

022-110 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第2報 CD4 値の変化の検討

川戸美由紀¹⁾、橋本修二¹⁾、岡 慎一²⁾、吉崎和幸³⁾、福武勝幸⁴⁾、日笠 聡⁵⁾、木村 哲⁶⁾、白阪琢磨⁷⁾

1) 藤田保健衛生大学 医学部衛生学、2) 国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター、3) 大阪大学 保健センター、4) 東京医科大学 臨床検査医学、5) 兵庫医科大学 血液内科、6) 東京逓信病院、7) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療センター

022-111 総合診療科における新規 HIV 感染症患者の動向 —初療医が HIV 感染症を鑑別に挙げる時代—

赤石 雄¹⁾、遠井敬大¹⁾、榎本年幸¹⁾、関 正康¹⁾、小宮英明¹⁾、原田芳巳¹⁾、平山陽示¹⁾、大滝純司¹⁾、山元泰之²⁾、福武勝幸²⁾

1) 東京医科大学総合診療科、2) 東京医科大学臨床検査科

022-112 当院における女性 HIV 感染者の傾向とその背景についての報告

本田美和子、水島大輔、中村春香、西島 健、青木孝弘、柳沢邦雄、渡辺恒二、渡邊珠代、本田元人、塚田訓久、田沼順子、矢崎博久、湯永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

022-113 沼津市立病院の HIV 治療における 10 年の変遷

野毛一郎¹⁾、森下和美¹⁾、中野明美²⁾、芹沢むつ子²⁾、山本里佳³⁾、樋口 綾³⁾、紅林洋子³⁾、宇賀神美代子^{2,4)}、吉田康秀⁵⁾

1) 沼津市立病院薬剤部、2) 沼津市立病院看護部、3) 沼津市立病院医事課、4) 沼津市立看護学校、5) 沼津市立病院呼吸器内科

022-114 北タイ政府系病院 HIV 外来における 13 年間の診療経験 —死亡率の推移と新たな問題—

土屋菜歩^{1,2)}、Pathipvanich Panita³⁾、Rojanawiwat Archawin⁴⁾、Sanwayanwalert Pathom⁴⁾、有吉紅也^{1,2)}

1) 長崎大学熱帯医学研究所臨床医学分野、2) 長崎大学グローバル COE プログラム、3) ランバン病院デイクアセンター、4) タイ国立衛生研究所

一般演題

O22-115 HIV 陽性者におけるワクチン接種の実 際

椎木創一¹⁾、遠藤和郎¹⁾、向井三穂子²⁾、
呉屋多恵子³⁾、友利幹夫³⁾、饒辺祐子⁴⁾

1) 沖縄県立中部病院感染症内科、2) 沖縄県立中部病院看護部、3) 沖縄県立中部病院薬剤部、4) 沖縄県立中部病院経営課

■日時:11月26日(木) 14:40~15:30

■会場:第6会場 (会議室131+132)

O23 その他(興味ある症例)

座長 鶴見 寿

(岐阜大学医学部附属病院血液感染症内科/エイズ対策推進センター)

石橋孝文

(静岡市立静岡病院血液内科)

O23-116 麻疹様の皮疹を呈し盲腸炎を合併して HAART を導入した HIV 急性感染の 一例

谷口智宏、小川吉彦、坂東裕基、
矢嶋敬史郎、富成伸次郎、笠井大介、
渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O23-117 初感染後 1 年でニューモシスチス肺炎 を発症した AIDS Rapid Progressor の 1 例

阿部信次郎、藤井達也、森川 慶、
河井敏宏、三村敬司、又木紀和、
岡田千津子、小針伸一、藤岡高弘、箱崎幸也

自衛隊中央病院内科

O23-118 肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症をきた した AIDS の 1 症例

宇野健司¹⁾、古西 満¹⁾、善本英一郎²⁾、
小川 拓¹⁾、忽那賢志¹⁾、片浪雄一¹⁾、
前田光一¹⁾、三笠桂一¹⁾

1) 奈良県立医科大学附属病院感染症センター、2) 奈良厚生会病院感染制御室

O23-119 HIV 感染症に合併した抗リン脂質抗体 症候群の一例

小川吉彦¹⁾、富成伸次郎¹⁾、坂東裕基¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、谷口智宏¹⁾、笠井大介¹⁾、
大谷成人²⁾、渡邊 大¹⁾、西田恭治¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター、2) 兵庫医科大学病院血液内科

O23-120 好酸球増多症合併 HIV 感染症に対し、 HAART を導入した 1 例

小谷岳春、宗本早織、上田幹夫

石川県立中央病院血液内科

■日時:11月26日(木) 15:40~16:40

■会場:第6会場 (会議室131+132)

O24 肝炎 1

座長 富成伸次郎

(国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

塚田訓久

(国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター)

O24-121 HIV/HCV 重複感染症患者に対する Peg-IFN α 2a 少量長期投与の経験

小谷岳春¹⁾、宗本早織¹⁾、上田幹夫¹⁾、
山田三枝子²⁾

1) 石川県立中央病院、2) 石川県立中央病院(エイズ予防財団リサーチレジデント)

O24-122 HIV 感染血液凝固異常症におけるイン ターフェロンによる治療状況:2006 年 6 月 1 日から 2008 年 5 月 31 日 までの期間における集計

立浪 忍¹⁾、桑原理恵²⁾、浅原美恵子³⁾、
三間屋純一⁴⁾、白幡 聡⁵⁾、瀧 正志⁶⁾

1) 聖マリアンナ医科大学医学教育文化部門医学統計学分野、2) 聖マリアンナ医科大学大学院アイソトープ研究施設、3) 聖マリアンナ医科大学小児科、4) 静岡県中部健康福祉センター、5) 北九州総合病院、6) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

O24-123 ドミノ肝移植にて救命し得た HIV・ HCV 重複感染肝不全症例

宮川寿一¹⁾、満屋裕明¹⁾、山本栄和²⁾、
猪俣裕紀洋²⁾、松下修三³⁾、塚田訓久⁴⁾、
岡 慎一⁴⁾

1) 熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部、2) 熊本大学医学部附属病院移植外科、3) 熊本大学エイズ学研究センター病態制御部門、4) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

O24-124 HIV/HBV 重複感染症における HBV に対する治療経験とその考察

齊藤誠司¹⁾、鍵浦文子¹⁾、小川良子³⁾、
藤井輝久¹⁾、高田 昇¹⁾、木村昭郎²⁾

1) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室、2) 広島大学血液内科、3) 広島大学病院看護部

一般演題

024-125 HBe 抗原陽性 HIV 感染者に対する HAART の抗 HBV 効果について

田沼順子¹⁾、水島大輔¹⁾、中村春香¹⁾、
青木孝弘¹⁾、西島 健¹⁾、柳沢邦雄¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、渡邊珠代¹⁾、本田元人¹⁾、
塚田訓久¹⁾、矢崎博久¹⁾、本田美和子¹⁾、
湯永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾、正木尚彦²⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療研究開発センター、2) 国立国際医療センター戸山病院消化器科

024-126 抗 HIV 剤は HBV 感染肝細胞における肝脂質代謝障害を促進する

南 留美、高濱宗一郎、安藤 仁、
山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

■日時:11月26日(木) 16:40~17:30

■会場:第6会場 (会議室131+132)

025 肝炎2・STI・STD

座長 伊藤俊広

(国立病院機構仙台医療センター内科)

高嶋能文

(静岡県立こども病院血液腫瘍科)

025-127 非典型的な抗体の推移を示した急性 B 型肝炎合併急性 HIV-1 感染症の 1 例

大谷知穂、玉嶋貞宏

聖隷浜松病院血液内科

025-128 B 型肝炎ワクチン無効 HIV 感染者に対するワクチン倍量接種の効能について

大瀧 学¹⁾、西田恭治²⁾、山元泰之¹⁾、
村松 崇¹⁾、清田育男¹⁾、四本美保子¹⁾、
鈴木隆史¹⁾、天野景裕¹⁾、香川和彦¹⁾、
松永直久³⁾、福武勝幸¹⁾

1) 東京医科大学臨床検査医学講座、2) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター、3) 東京医科大学病院感染制御部

025-129 大阪府内の STI 関連診療所での HIV 陽性者における B 型肝炎・梅毒の罹患状況と HBV 遺伝子型

川畑拓也¹⁾、小島洋子¹⁾、森 治代¹⁾、
大国 剛²⁾、古林敬一²⁾、岩佐 厚³⁾、
谷口 恭⁴⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課、2) 大国診療所、
3) 岩佐クリニック、4) 太融寺町谷口医院

025-130 過去 3 年間に東京医科大学病院で経験した HIV 合併梅毒 75 例の統計学的検討

川口敦子¹⁾、斎藤万寿吉¹⁾、山元泰之²⁾、
福武勝幸²⁾、坪井良治¹⁾

1) 東京医科大学皮膚科、2) 東京医科大学臨床検査医学科

025-131 当院で経験した赤痢アメーバ症の臨床症状と治療についての検討

渡辺恒二、水島大輔、中村春香、青木孝弘、
西島 健、柳沢邦雄、渡邊珠代、本田元人、
塚田訓久、田沼順子、矢崎博久、
本田美和子、湯永博之、照屋勝治、
平林義弘、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療研究開発センター

■日時:11月27日(金) 9:00~9:40

■会場:第4会場 (会議室431+432)

026 免疫ワクチン1

座長 上野貴将

(熊本大学エイズ学研究センター)

立川(川名) 愛

(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野)

026-132 HIV 暴露樹状細胞が及ぼす CD4 陽性 NKT 細胞の X-4 type HIV-1 感受性増強の可能性

高久千鶴乃、渡邊恵理、大脇敦子、
清水真澄、近江恭子、渡理英二、新谷英滋、
高橋秀実

日本医科大学微生物学免疫学教室

026-133 HIV-1 によるミエロイド樹状細胞のアポトーシスと成熟促進に関与する宿主細胞因子

児玉 晃、張 麗峰、田中礼子、田中勇悦

琉球大学大学院医学研究科免疫学分野

一般演題

O26-134 エイズ制御を目的とする樹状細胞 (DC) 免疫: DC の簡単培養法とヒト化マウスでの評価

田中勇悦、児玉 晃、張 麗峰、田中礼子

琉球大学大学院医学研究科免疫学

O26-135 HIV-1 GagVLPs inhibit HIV-1 replication in dendritic cells via up-regulation of Apobec3 F/G

Chang, Myint Oo、鈴木友幸、渡辺 恵、高久 洋

千葉工業大学工学部生命環境科学科

■日時:11月27日(金) 9:40~10:30

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O27 免疫ワクチン2

座長 横田恭子

(国立感染症研究所免疫部)

大橋 貴

(北海道大学遺伝子病制御研究所感染病態分野)

O27-136 慢性 HIV-1 感染者における HIV-1 pol 特異的 CD8T 細胞による HIV-1 のコントロール

村越勇人¹⁾、潟永博之^{2,3)}、小柳 円¹⁾、岡 慎一^{2,3)}、滝口雅文¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野、2) 熊本大学エイズ学研究センター流行阻止分野、3) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

O27-137 HLA-B*5101 拘束性 CTL による HIV-1 逃避変異体の選択

久世 望¹⁾、川島夕佳¹⁾、潟永博之²⁾、岡 慎一²⁾、滝口雅文¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御、2) 国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター

O27-138 日本人集団における HIV 特異的細胞性免疫応答の解析

立川(川名) 愛、中山 香、古賀道子、鯉淵智彦、小田原 隆、藤井 毅、岩本愛吉

東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

O27-139 heterologous SIV 感染モデルによる多様性ウイルス感染を防御する宿主応答の解析 2

森 一泰¹⁾、杉本智恵²⁾、渡辺 哲¹⁾、佐藤洋隆¹⁾、成瀬妙子³⁾、椎野禎一郎⁴⁾、宮澤正顯⁵⁾、木村彰方³⁾、山本直樹¹⁾、永井美之⁶⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) Tulane National Primate Research Center、3) 東京医科歯科大学、4) 国立感染症研究所、5) 近畿大学医学部、6) 理化学研究所

O27-140 高親和性モノクローナル抗体による CD4 エピトープの検討

戸田哲平¹⁾、桑原一彦¹⁾、前田洋助²⁾、北畠正大¹⁾、阪口薫雄¹⁾

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部免疫学分野、2) 熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御学分野

■日時:11月27日(金) 10:40~11:30

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O28 免疫ワクチン3

座長 五十嵐樹彦

(京都大学ウイルス研究所)

三隅将吾

(熊本大学大学院医学薬学研究部薬学生化学分野)

O28-141 HIV 患者の腸管粘膜における感染細胞とプロウイルス DNA・ウイルス RNA の検索

松村次郎¹⁾、大脇敦子¹⁾、清水真澄¹⁾、本田元人²⁾、秋山純一³⁾、新谷英滋¹⁾、岡 慎一²⁾、高橋秀実¹⁾

1) 日本医科大学微生物免疫学教室、2) 国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター、3) 国立国際医療センター消化器科

O28-142 M細胞標的分子 Tetragalloyl-D-Lysine Dendrimer (TGDK) を用いた HIV 粘膜ワクチン開発

野崎清輝¹⁾、三隅将吾¹⁾、松本浩和¹⁾、甲斐 光¹⁾、松浦 薫¹⁾、高橋義博²⁾、増山光明¹⁾、杉本幸彦¹⁾、高宗暢暁¹⁾、庄司省三^{1,3)}

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部薬学生化学分野、2) 株式会社新日本科学、3) 熊本保健科学大学

一般演題

O28-143 OX40 共刺激を介する活性化 PBMC での CCR5 HIV - 1 の感染抑制

田中礼子、田中勇悦

琉球大学大学院医学研究科免疫学

O28-144 Effects of commensal organisms on HIV - 1 replication in macrophage - like cells

Ahmed Nursarat¹⁾、Hayashi Takaya¹⁾、
Hasegawa Atsuhiko¹⁾、
Furukawa Hiroyuki¹⁾、
Okamura Noboru²⁾、Chida Toshio²⁾、
Masuda Takao¹⁾、Kannagi Mari¹⁾

1) Department of Immunotherapeutics, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University、2) Laboratory of Microbiology and Immunology, Graduate School of Health Care Sciences, Tokyo Medical and Dental University

O28-145 AIDS 関 連 播 種 性 *Mycobacterium avium* 感染症の免疫病理分子機構

日比谷健司¹⁾、照屋勝治²⁾、仲村秀太¹⁾、
田里大輔¹⁾、知念 寛¹⁾、比嘉 太¹⁾、
健山正男¹⁾、望月 誠³⁾、遠藤久子³⁾、
菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、藤田次郎¹⁾

1) 琉球大学大学院医学研究科感染病態制御学講座分子病態感染症分野、2) 国立国際医療センター エイズ治療開発センター、3) 国立国際医療センター 臨床検査部病理検査室

■日時:11月27日(金) 16:50~17:30

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O29 薬害

座長 井上洋士
(放送大学)

O29-146 薬害 HIV 感染血友病患者の妻における薬害事件の理解

伊藤美樹子^{1,6)}、九津見雅美^{2,6)}、
大村佳代子¹⁾、溝田友里^{3,6)}、井上洋士^{4,6)}、
山崎喜比古^{5,6)}、大平勝美⁶⁾、小山昇孝⁶⁾、
後藤智己⁶⁾、森戸克則⁶⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科、2) 千里金蘭大学、3) 国立がんセンター、4) 放送大学、5) 東京大学大学院医学系研究科、6) 薬害 HIV 感染被害者(患者・家族)生活実態調査委員会

O29-147 薬害 HIV 感染被害患者の地域別にみた就労割合と経済的不安の関連要因の検討

九津見雅美^{1,7)}、伊藤美樹子^{2,7)}、
大村佳代子²⁾、溝田友里^{3,7)}、井上洋士^{4,7)}、
清水由香^{5,7)}、山崎喜比古^{6,7)}、大平勝美⁷⁾、
小山昇孝⁷⁾、後藤智己⁷⁾、森戸克則⁷⁾

1) 千里金蘭大学看護学部、2) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻、3) 国立がんセンター、4) 放送大学教養学部、5) 大阪市立大学大学院生活科学科、6) 東京大学大学院医学系研究科、7) 薬害 HIV 感染被害者(患者・家族)生活実態調査委員会

O29-148 薬害 HIV 感染患者・家族の逆境下成長と促進要因に関する研究

横山由香里¹⁾、山崎喜比古¹⁾、井上洋士²⁾、
溝田友里³⁾、伊藤美樹子⁴⁾、九津見雅美⁴⁾、
熊田奈緒子¹⁾

1) 東京大学大学院医学系研究科健康社会学教室、2) 放送大学教養学部、3) 国立がんセンターがん対策情報センター、4) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

O29-149 薬害 HIV 感染者における病状認識が健康行動や精神健康に及ぼす影響

大村佳代子¹⁾、九津見雅美^{2,6)}、
伊藤美樹子^{1,6)}、溝田友里^{3,6)}、井上洋士^{4,6)}、
山崎喜比古^{5,6)}、大平勝美⁶⁾、小山昇孝⁶⁾、
後藤智己⁶⁾、森戸克則⁶⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科、2) 千里金蘭大学、3) 国立がんセンター、4) 放送大学、5) 東京大学大学院医学系研究科、6) 薬害 HIV 感染被害者(患者・家族)生活実態調査委員会

■日時:11月27日(金) 17:40~18:30

■会場:第4会場 (会議室431+432)

O30 MSM 2

座長 日高庸晴
(関西看護医療大学看護学部)

O30-150 名古屋医療センターにおける MSM 患者の視点から予防啓発活動の問題点を探る

菊池恵美子^{1,2)}、内海 眞¹⁾、濱口元洋¹⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター、2) 財団法人エイズ予防財団

一般演題

030-151 MSM人口内における予防介入困難群の探索:グループインタビューにより抽出した予防行動阻害要因とMSMサブポピュレーション

宮島謙介^{1,2)}、長谷川博史¹⁾、大木幸子³⁾

1) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス、2) しらかば診療所、3) 杏林大学保健学部看護学科

030-152 個別施策層向けのHIV対策に関する地方自治体向けの質問票調査

藤部荒術¹⁾、太田昌二¹⁾、嶋田憲司¹⁾、
鳩貝啓美¹⁾、河口和也²⁾、飯塚信吾¹⁾、
杉山雅人¹⁾

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビ안의会、2) 広島修道大学

030-153 首都圏 MSM 予防啓発活動の複合的アプローチに見られるマーケティング手法の研究

長谷川博史¹⁾、高久陽介¹⁾、張 由紀夫²⁾、
谷脇慶太¹⁾、佐藤未光²⁾

1) 日本陽性者ネットワーク・ジャンププラス、2) Rainbow Ring

030-154 ぷれいす東京 ゲイ向け HIV/AIDS 電話相談の相談傾向

山本行宏、生島 嗣、佐藤郁夫

ぷれいす東京

■日時:11月27日(金) 9:50~10:40

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O31 薬剤耐性

座長 加藤真吾

(慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室)

三浦聡之

(東京大学医学部先端医療研究センター感染症分野)

031-155 急速な進行と多彩な合併症を伴い、初期治療に早期に失敗した急性 HIV 感染症の一例

井戸田一朗¹⁾、加藤朋子¹⁾、畑 寿太郎¹⁾、
島川真知子¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子²⁾、
須藤弘二³⁾、加藤真吾³⁾、今井 光信²⁾

1) しらかば診療所、2) 神奈川県衛生研究所微生物部、
3) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

031-156 多剤耐性症例治療を目的とした新規抗 HIV 薬使用症例に対する緊急全国調査

宮崎菜穂子^{1,2,3)}、松下修三⁴⁾、藤井 毅³⁾、
岩本愛吉³⁾、杉浦 亙^{1,5)}

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 東京大学医科学研究所、4) 熊本大学エイズ学研究センター、5) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

031-157 HIV – 1 Subtype Diversity and Drug Resistance among HIV – 1 – infected Kenyan Patients Initiating Antiretroviral Therapy

Lihana Raphael、Ishizaki Azumi、
Matsushita Kaori、Phan Thi Thu Chung、
Bi Xiuqiong、Ichimura Hiroshi

金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学分野

031-158 ガーナにおける抗レトロウイルス治療(ART)中HIV感染者のウイルス定量と薬剤耐性解析

石川晃一^{1,2)}、山本典生^{1,3)}、杉浦 亙⁴⁾、
服部純子⁴⁾、山岡昇司¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ウイルス制御学、2) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, Univ.Ghana、3) 現・国立感染症研究所、4) 国立病院機構名古屋医療センター

031-159 高感度薬剤耐性 HIV 検出法を用いた微小集族薬剤耐性 HIV の検出と存在比率に関する研究

西澤雅子¹⁾、Jeffery Johnson²⁾、
Walid Heneine²⁾、山本直樹¹⁾、杉浦 亙¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) 米国疾病対策局(CDC)

■日時:11月27日(金) 10:50~11:30

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O32 抗酸菌

座長 永井英明

(国立病院機構東京病院)

小河原光正

(国立病院機構大阪医療センター呼吸器内科)

032-160 HAART 時代の HIV 合併結核に関する検討

村松 崇¹⁾、藤田 明²⁾、柳澤如樹¹⁾、
菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾

1) 東京都立駒込病院、2) 東京都立府中病院

一般演題

O32-161 全国 HIV 合併結核症例の検討 —全国 HIV 感染合併結核症アンケート 調査報告—

村上邦仁子¹⁾、山田紀男¹⁾、佐々木結花²⁾、
堀場昌英³⁾、永井英明⁴⁾、藤田 明⁵⁾、
加藤誠也¹⁾

1) 結核予防会結核研究所、2) 国立病院機構千葉東病院、
3) 国立病院機構東埼玉病院、4) 国立病院機構東京病院、
5) 東京都立府中病院

O32-162 HIV 感染者における潜在性結核感染症 の診断・治療に関する検討

藤田 明¹⁾、畠山修司²⁾、原田登之³⁾、
樋口一恵³⁾、村松 崇⁴⁾、味澤 篤⁵⁾、
森 亨³⁾

1) 東京都立府中病院呼吸器科、2) 東京大学医学部附属病
院感染症内科、3) 結核研究所、4) 東京医大臨床検査医学
講座、5) 東京都立駒込病院感染症科

O32-163 診断に苦慮した非結核性抗酸菌症免疫 再構築症候群の一例

照屋宏充¹⁾、健山正男¹⁾、日比谷健司¹⁾、
仲村秀太¹⁾、田里大輔¹⁾、原永修作¹⁾、
前城達次¹⁾、比嘉 太¹⁾、藤田次郎¹⁾、
宮城京子²⁾

1) 琉球大学医学部附属病院第一内科、2) 琉球大学医学部
附属病院看護部

■日時:11月27日(金) 14:40~16:10

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O33 抗HIV療法(症例)

座長 堀場昌英

(国立病院機構東埼玉病院呼吸器科)

矢崎博久

(国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター)

O33-164 RAL/ATV/RTV によるダブルブース ト療法が奏効した吸収不良 HIV 感染症 の1例

高濱宗一郎、安藤 仁、南 留美、山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

O33-165 冠動脈バイパス手術前にラルテグラビ ル、エトラビリン、ラミブジンにて初 回抗 HIV 治療を開始した一例

吉村幸浩、倉井華子、立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

O33-166 佐久総合病院においてテノホビルへの 切替を行なった7例の検討

藤川祐子、鄭 真徳、岡田邦彦

佐久総合病院

O33-167 HIV プロテアーゼ阻害剤耐性関連変異 蓄積症例の薬剤感受性評価に対する VLP ELISA 法およびコンピューター シミュレーション法の有用性の検討

横幕能行¹⁾、大出裕高²⁾、藤崎彩恵子¹⁾、
伊部史朗¹⁾、藤崎誠一郎¹⁾、服部純子¹⁾、
濱口元洋¹⁾、杉浦 亙¹⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター、2) 国立感染症研究
所

O33-168 国立大阪医療センターにおける代替薬 としてのATV200mgの検討

白阪琢磨¹⁾、西田恭治¹⁾、渡邊 大¹⁾、
富成伸次郎¹⁾、谷口智宏¹⁾、笠井大介¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、小川吉彦¹⁾、坂東裕基¹⁾、
下司有加²⁾、治川知子²⁾、垣端美帆²⁾、
東 政美²⁾、矢倉裕輝³⁾、吉野宗宏³⁾、
上平朝子¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター HIV / AIDS先端医療開
発センター・免疫感染症科、2) 国立病院機構大阪医療セン
ター看護部、3) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科

O33-169 TaqMan PCR 定性法を用いた Efavirenz と Atazanavir の治療効果 の比較

遠藤知之¹⁾、西尾充史¹⁾、山口圭介^{1,2)}、
藤澤真一³⁾、小野澤真弘⁴⁾、近藤 健⁴⁾、
橋野 聡⁴⁾、田中淳司⁵⁾、今村雅寛⁶⁾、
佐藤典宏⁶⁾、小池隆夫¹⁾

1) 北海道大学病院第二内科、2) 財団法人エイズ予防財
団、3) 北海道大学病院検査・輸血部、4) 北海道大学病院第
三内科、5) 北海道大学病院血液内科Ⅰ、6) 北海道大学病院
高度先進医療支援センター

O33-170 AIDS、高度免疫不全に対し早期から ART を開始した11例の検討

坂部茂俊、辻 幸太

山田赤十字病院内科

O33-171 HAART 開始後ウイルス学的には有効 であるが免疫学的な効果が不十分な症 例の検討

中村匡宏、片山智香子、中川智代、後藤哲
志、塩見正司

大阪市立総合医療センター感染症センター

一般演題

033-172 長期コントロール良好な HIV 感染者における ART 開始時の年齢と CD4 数との関連について

内海英貴¹⁾、小川孔幸¹⁾、合田 史²⁾、
馬渡桃子³⁾、澤村守夫³⁾、小倉秀充⁴⁾、
野島美久¹⁾

1) 群馬大学医学部附属病院血液内科、2) 国立病院機構高崎病院内科、3) 国立病院機構西群馬病院血液内科、4) 前橋赤十字病院

■日時:11月27日（金） 16:20～17:30

■会場:第5会場（会議室141+142）

034 抗HIV療法（使用状況）

座長 田邊嘉也

（新潟大学医歯学総合病院）

本田元人

（国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター）

034-173 拠点病院における抗 HIV 療法と薬剤関連アンケート調査結果（第6報）

桑原 健¹⁾、小島賢一²⁾、日笠 聡³⁾、
白阪琢磨⁴⁾

1) 国立病院機構京都病院長官科、2) 荻窪病院血液科、
3) 兵庫医科大学病院血液内科、4) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

034-174 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査 —治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査（2009 年）—

日笠 聡¹⁾、桑原 健²⁾、小島賢一³⁾、
白阪琢磨⁴⁾

1) 兵庫医科大学血液内科、2) 国立病院機構京都病院長官科、
3) 荻窪病院、4) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

034-175 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査 —抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査（2009 年）—

小島賢一¹⁾、桑原 健²⁾、日笠 聡^{2,3)}、
白阪琢磨⁴⁾

1) 医療法人財団荻窪病院、2) 国立病院機構京都病院長官科、
3) 兵庫医科大学血液内科、4) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

034-176 初回導入 HAART とその変更要因の検討

堀場昌英、中村春香、増田貴史、
平良真奈子、諸井文子、高杉知明、人見公代

国立病院機構東埼玉病院

034-177 国立国際医療センター戸山病院・エイズ治療研究センターにおける HAART 療法の現状

中村真依¹⁾、増田純一¹⁾、千田昌之¹⁾、
菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、三上二郎¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院薬剤部、2) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療研究開発センター

034-178 東京医科大学病院における抗 HIV 薬の使用動向 —新規薬剤の使用状況について—

関根祐介¹⁾、井口奈津子¹⁾、佐藤由里子¹⁾、
金子亜希子¹⁾、中村 薫¹⁾、明石貴雄¹⁾、
鈴木隆史²⁾、天野景裕²⁾、山元泰之²⁾、
福武勝幸²⁾

1) 東京医科大学病院薬剤部、2) 東京医科大学病院臨床検査医学講座

034-179 当院での初回療法で使用された抗 HIV 薬の変遷と DRV 投与者の経過について

矢崎博久、水島大輔、中村春香、青木孝弘、
西島 健、柳沢邦雄、渡辺恒二、渡邊珠代、
本田元人、田沼順子、塚田訓久、
本田美和子、湯永博之、照屋勝治、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

一般演題

■日時:11月27日(金) 17:30~18:10

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O35 その他(HIV関連病態)

座長 藤井 毅

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

山本景三

(豊橋市立病院感染症管理センター)

■日時:11月27日(金) 9:00~10:20

■会場:第6会場 (会議室131+132)

O36 若者・教育・啓発

座長 山崎浩司

(東京大学大学院人文社会系研究科次世代人文学開発センター)

西村由実子

(京都大学大学院医学研究科)

O35-180 HIV 感染症における酸化ストレス / 抗酸化力

古西 満¹⁾、善本英一郎²⁾、宇野健司¹⁾、
片浪雄一¹⁾、忽那賢志¹⁾、小川 拓¹⁾、
中川智代³⁾、米川真輔⁴⁾、前田光一¹⁾、
三笠桂一¹⁾

1) 奈良県立医科大学感染症センター、2) 奈良厚生会病院
感染制御室、3) 大阪市立総合医療センター感染症センター、
4) 済生会中和病院内科

O35-181 当院 HIV 感染男性患者における COPD の有病率とその危険因子に関する臨床的検討

仲村秀太、田里大輔、照屋宏充、原永修作、
比嘉 太、健山正男、藤田次郎

琉球大学大学院医学研究科感染病態制御学講座分子病態感
染症学分野

O35-182 大阪医療センターにおける HIV 感染患者の手術成績に関する検討

笠井大介、小川吉彦、坂東裕基、
矢嶋敬史郎、谷口智宏、富成伸次郎、
渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

O35-183 HIV 感染者における高血圧症

本田元人、水島大輔、中村春香、青木孝弘、
西島 健、柳沢邦雄、渡辺恒二、渡邊珠代、
塚田訓久、矢崎博久、田沼順子、
本田美和子、湯永博之、照屋勝治、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発セン
ター

O36-184 秋田県における中学生・高校生への性教育・エイズ予防啓発の取り組みとその成果

高橋義博¹⁾、滝本法明²⁾

1) 大館市立総合病院小児科、2) 秋田県健康推進課

O36-185 学童期におけるエイズ教育の現状と地域ネットワークを活用したアプローチ

濱田維子、力武由美

日本赤十字九州国際看護大学

O36-186 学校外講師に求められる HIV 感染予防啓発の視点の変遷

岩室紳也

(社) 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター

O36-187 早稲田大学構内における HIV 迅速抗体検査の実施に関する考察と示唆

郭 晃彰¹⁾、岡 慎一²⁾、大平勝美³⁾、
柿沼章子³⁾、小林直貴¹⁾、中澤陽介¹⁾

1) 早稲田大学公認イベント企画サークル qoon、2) 国立
国際医療センター エイズ研究・治療開発センター、3) 社会
福祉法人はばたき福祉事業団

O36-188 八王子市保健所におけるエイズ・ピア・エデュケーション活動について

山田悦子¹⁾、松本由美¹⁾、岡 七美¹⁾、
笹井美由紀¹⁾、宮本謙一¹⁾、小林信之¹⁾、
中山順子²⁾、草深明子²⁾、上野曜子²⁾、
田中敦子²⁾

1) 八王子市保健所保健対策課、2) 元八王子市保健所

O36-189 大学祭における予防介入提供者の性行動背景と介入効果の検討

徳久義治¹⁾、木村妃南子²⁾、松竹 梓²⁾、
山田 治¹⁾

1) 山口大学医学系研究科、2) 山口大学医学部保健学科

一般演題

036-190 コンドーム使用セルフエフィカシー尺度の検討

木村妃南子¹⁾、松竹 梓¹⁾、徳久義治²⁾、
山田 治²⁾

1) 山口大学医学部保健学科、2) 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

036-191 エイズカフェ参加者におけるコンドーム使用セルフエフィカシー尺度の検討

松竹 梓¹⁾、徳久義治²⁾、木村妃南子¹⁾、
山田 治²⁾

1) 山口大学医学部保健学科、2) 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

■日時:11月27日(金) 10:20~11:30

■会場:第6会場 (会議室131+132)

037 HIV検査受検者動向

座長 井戸田一郎

(しらかば診療所)

大木幸子

(杏林大学保健学部)

037-192 「HIV 検査・相談室」サークルさっぽろにおける相談体制の検討(2009)―受検前後、検査結果受取後の相談の分析より―

大野稔子¹⁾、渡部恵子²⁾、最上いくみ³⁾、
佐々木祐子³⁾、徳本栄子⁴⁾、尾谷ゆか⁵⁾、
宮武由紀子⁶⁾、本庄真美子⁶⁾

1) 北海道大学病院看護部、2) エイズ予防財団リサーチレジデント、3) 札幌医科大学附属病院看護部、4) 啓生会病院、5) 北海道大学病院臨床心理士、6) NPO 法人レッドリボンさっぽろ

037-193 エイズ相談・検査におけるアンケート結果とエイズ予防対策の検討

熊澤まみ、小林裕子、高堂祥子、
高階千江子、永井伸彦

秋田県平鹿地域振興局福祉環境部

037-194 しらかば診療所における HIV 抗体検査複数回受検者の背景

加藤朋子、三木 猛、井戸田一郎

しらかば診療所

037-195 都内の休日即日 HIV 抗体検査施設(すぎなみサンサンサイト)における利用者の状況と今後の課題

塩入康史、高橋礼子、桜井健司、石神 亙、
永竹未奈

特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター

037-196 休日 HIV 抗体検査・相談事業に見る名古屋地域の受検者状況―栄サンサンサイトの3年間―

大郷宏基¹⁾、右田麻里子¹⁾、伊藤葉子²⁾、
石神 亙¹⁾、桜井健司¹⁾、大釜正希¹⁾

1) 特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター、2) 中京大学現代社会学部

037-197 大阪・土曜日常設 HIV 検査事業における受検者の動向(2008)

岳中美江^{1,2)}、榎本てる子¹⁾、岡部正子¹⁾、
岡本 学¹⁾、土居加寿子¹⁾、松浦基夫¹⁾、
山中京子¹⁾、藤山佳秀¹⁾、市川誠一³⁾

1) 特定非営利活動法人 CHARM、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

037-198 全国、沖縄県と沖縄県中央保健所における HIV 検査件数と、HIV/AIDS 報告件数からの考察

宮川桂子

沖縄県中部保健所

■日時:11月27日(金) 14:40~15:30

■会場:第6会場 (会議室131+132)

038 看護事例 1

座長 村上未知子

(HIV/AIDS 看護学会(JANAC))

池田和子

(国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

038-199 エイズ拠点病院外来通院中の HIV 感染者および AIDS 患者へのソーシャルサポートに関する研究

金澤悦子¹⁾、疋田美鈴²⁾、武藤 愛²⁾、
佐藤愛子^{2,3)}、伊藤俊広²⁾、佐藤 功²⁾、
土屋香代子⁴⁾

1) 東北大学病院、2) 国立病院機構仙台医療センター、
3) 財団法人エイズ予防財団、4) 宮城大学看護学部

一般演題

O38-200 妻のサポートが得られず治療継続が困難になった事例

大西良子、芦野有悟、服部俊夫
東北大学病院感染症科

O38-201 HIVに対し否定的な感情を持つ患者が受容に至った事例

直井寿子
東京大学医科学研究所附属病院看護部

O38-202 HIV 感染症の告知をやむを得ず行うことになった医療者の対応

中居映津子¹⁾、石崎芳美¹⁾、西山歩美¹⁾、高橋陽子¹⁾、杉本厚子¹⁾、野本悦子¹⁾、内海英貴²⁾、小川孔幸²⁾、野島美久²⁾
1) 群馬大学医学部附属病院看護部、2) 群馬大学医学部生体統御内科

O38-203 ベナンボックス吸入時の苦味の軽減に対するハッカ飴の使用とその効果

奥村かおる¹⁾、山田由美子¹⁾、三和治美¹⁾、平野 淳²⁾、濱口元洋³⁾
1) 国立病院機構名古屋医療センター看護部、2) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部、3) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ感染症診療部

■日時:11月27日（金） 15:40～16:20

■会場:第6会場（会議室131+132）

O39 看護事例 2

座長 大野稔子
（北海道大学病院）
城崎真弓
（国立病院機構九州医療センター）

O39-204 ロイ適応看護理論に基づく AIDS 患者の事例の分析

井上有子¹⁾、井原国代¹⁾、木村真知子²⁾
1) 熊本大学医学部附属病院西病棟11階、2) 熊本大学医学部附属病院看護外来

O39-205 HIV 感染症患者の抑うつの実態

徐 廷美^{1,2)}、西垣昌和²⁾、池田和子¹⁾、下司有加³⁾、山田由紀¹⁾、島田 恵¹⁾、数間恵子²⁾
1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻成人看護学分野、3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O39-206 HIV 感染症患者のセルフマネジメントの実態

下司有加¹⁾、徐 廷美^{2,3)}、池田和子²⁾、山田由紀²⁾、島田 恵²⁾、西垣昌和³⁾、数間恵子³⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、2) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、3) 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻成人看護学分野

O39-207 HIV 感染症患者のセルフマネジメント困難要因

池田和子¹⁾、徐 廷美^{1,2)}、下司有加³⁾、山田由紀¹⁾、島田 恵¹⁾、西垣昌和²⁾、数間恵子²⁾
1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻成人看護学分野、3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

■日時:11月27日（金） 16:30～17:50

■会場:第6会場（会議室131+132）

O40 看護体制・研修

座長 下司有加
（国立病院機構大阪医療センター看護部）
島田 恵
（国立国際医療センター戸山病院）

O40-208 ACTION Program – エイズ拠点病院海外実地研修サンフランシスコ看護師コースからの報告

鬼塚直樹¹⁾、Jeffrey Mandel¹⁾、大野稔子²⁾、最上いくみ³⁾、石上 香⁴⁾
1) University of California, San Francisco Global Health Sciences、2) 北海道大学病院、3) 札幌医科大学附属病院、4) 旭川医科大学病院

O40-209 看護師への HIV/AIDS 教育研修のあり方の検討

坂上紀子、菅安康子、清水幸江、森永浩次
福井県立病院

一般演題

O40-210 一拠点病院における看護師の知識、意識調査

森尾志保¹⁾、竹田久子¹⁾、木田美保¹⁾、
坂部茂俊²⁾、辻 幸太²⁾

1) 山田赤十字病院看護部、2) 山田赤十字病院内科

O40-211 看護職員への啓蒙活動に対する評価と今後の課題

一ブロック拠点病院看護師の
HIV/AIDSに関する知識調査の現状分
析より一

佐々木祐子、最上いくみ、多羽田直実、
白井佐恵子、工藤美幸、梅田聖子、
真野美紀子、池田あつ子、佐藤みはる、
皆川尚子

札幌医科大学附属病院

O40-212 当院の専門病棟における HIV コーディネーターナースの認知度とコンサルテーションの関係

治川知子、下司有加、垣端美帆、東 政美、
立花 泉、梅原美加子、富山洋子、
白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

O40-213 エイズ拠点病院の HIV 担当看護師に対する支援の検討

一平成20年度エイズ拠点病院
HIV/AIDS 看護実態調査より一

武田謙治¹⁾、鍵浦文子¹⁾、小川良子²⁾、
疋田美鈴³⁾、武藤 愛³⁾、石垣今日子²⁾、
池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 広島大学病院、3) 国立病院機構仙台医療センター

O40-214 HIV/AIDS 陽性者のヘルスケアシステム評価に関する研究 一 CCM を基盤とした PACIC 調査票 日本語版作成のための調査一

福山由美^{1,2)}

1) 豊橋創造大学保健医療学部看護学科、2) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

O40-215 助産・産科ケア業務における看護従事者の血液・体液曝露と感染対策の実態

安達真由美¹⁾、佐山光子¹⁾、定方美恵子¹⁾、
佐藤 悦¹⁾、永井佳子¹⁾、内山正子²⁾、
堀 成美³⁾

1) 新潟大学医学部保健学科、2) 新潟大学歯学総合病院感染管理部、3) 聖路加看護大学看護学部

■日時:11月28日(土) 11:00~12:00

■会場:第1会場 (白鳥ホール(北))

O41 検査体制 1

座長 佐藤末光

(RainbowRing / ひかりクリニック)

川畑拓也

(大阪府立公衆衛生研究所)

O41-216 地方自治体とNPO連携による検査事業化と実践

一行政の立場から一

苗村直美¹⁾、絵野沢 勝¹⁾、太田昌二²⁾、
嶋田憲司²⁾、瀬谷恵美¹⁾、西田道弘¹⁾、
山本善彦³⁾

1) さいたま市保健所地域保健課、2) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会、3) 健康科学研究センター保健科学課

O41-217 地方自治体とNPO連携による検査事業化と実践

一NPOの立場から一

太田昌二¹⁾、藤部荒術¹⁾、嶋田憲司¹⁾、
鳩貝啓美¹⁾、飯塚信吾¹⁾、杉山雅人¹⁾、
河口和也²⁾、苗村直美³⁾、絵野沢 勝³⁾

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会、2) 広島修道大学、3) さいたま市保健所

O41-218 栃木県内の STD 診療における HIV 抗体検査の普及について

外島正樹¹⁾、笹原鉄平¹⁾、今出賢紀²⁾、
北野 猛²⁾、鴫田 英²⁾

1) 自治医大臨床感染症センター感染症科、2) グラクソスミスクライン株式会社専門領域推進部

一般演題

041-219 MSM コミュニティセンター「かながわレインボーセンター SHIP」における即日検査事業

星野慎二¹⁾、井戸田一朗^{2,3)}、相楽裕子⁴⁾、吉村幸浩⁴⁾、中澤よう子⁵⁾、沢田貴志⁶⁾、八木下しのぶ⁷⁾、佐野貴子⁸⁾、今井光信^{8,9)}

1) 横浜 Cruise ネットワーク、2) AGP (同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議)、3) しらかば診療所、4) 横浜市民病院内 感染症内科、5) 神奈川県小田原保健福祉事務所、6) 港町診療所、7) 神奈川県保健福祉部健康増進課、8) 神奈川県衛生研究所 微生物部、9) 田園調布学園大学

041-220 HIV 検査機関における「範囲と限界」と「地域連携」について考える—症例を通して看護師の立場からの一考察—

今井敏幸^{1,2)}

1) 財団法人エイズ予防財団、2) 元東京都南新宿検査・相談室

041-221 広島県における HIV 抗体検査イベントと HIV 陽性者団体の役割についての考察

藤原良次¹⁾、早坂典生¹⁾、椎村和義¹⁾、坂本裕敬²⁾

1) りょうちゃんず、2) 広島市健康福祉局保健部保健医療課

■日時:11月28日(土) 13:00~14:20

■会場:第1会場 (白鳥ホール(北))

042 検査体制 2

座長 佐野貴子

(神奈川県衛生研究所微生物部)

中瀬克己

(岡山市保健所)

042-222 HIV 無料・匿名・迅速検査についての当院の取り組み

松田幸子、長谷川直子、藍澤明子、山口京子、上條いずみ、佐藤志野、古田 清、北野喜良

国立病院機構まつもと医療センター松本病院

042-223 ブロック拠点病院での匿名無料即日 HIV 検査抗体検査

高岡勝利¹⁾、菅澤明美¹⁾、成田清子¹⁾、高橋晴代¹⁾、三間真希子¹⁾、斎藤 裕¹⁾、関 義信²⁾

1) 新潟県立新発田病院看護部、2) 新潟県立新発田病院内科

042-224 刑務所における HIV 抗体検査の必要性—覚せい剤取締法違反の受刑者に焦点を当てて—

永田憲史

関西大学法学部

042-225 匿名検査における安全管理と支援について—問診票の活用に関する一考察—

今井敏幸¹⁾、野崎宏枝²⁾、神村麻穂子³⁾、渡辺恒二⁴⁾、源河いくみ⁵⁾

1) 財団法人エイズ予防財団、2) 元水道橋三崎町クリニック、3) 東京大学大学院医学系研究科、4) 国立国際医療センター戸山病院、5) 東京ミッドタウンクリニック

042-226 東京都における HIV 検査陽性例の解析(2004 年— 2008 年)

長島真美、新開敬行、吉田 勲、尾形和恵、原田幸子、保坂三継、貞升健志、甲斐明美

東京都健康安全研究センター微生物部

042-227 福岡地域における HIV 感染者および AIDS 患者から分離された HIV の遺伝子解析

川本大輔¹⁾、樋脇 弘¹⁾、高橋真梨子²⁾、南 留美²⁾、山本政弘²⁾

1) 福岡市保健環境研究所、2) 国立病院機構九州医療センター

042-228 HIV 検査相談体制における新型インフルエンザ流行の影響

川畑拓也^{1,10)}、森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、秋吉京子²⁾、近藤真規子^{3,10)}、中澤よう子⁴⁾、宇宿秀三^{5,10)}、貞升健志^{6,10)}、長島真美⁶⁾、矢永由里子^{7,10)}、今井光信^{3,8,10)}、加藤真吾^{9,10)}

1) 大阪府立公衆衛生研究所、2) 神戸市環境保健研究所、3) 神奈川県衛生研究所、4) 神奈川県小田原保健福祉事務所、5) 横浜市衛生研究所、6) 東京都健康安全研究センター、7) 財団法人エイズ予防財団、8) 田園調布学園大学、9) 慶應義塾大学医学部、10) 厚労科研「HIV 検査相談体制の充実と活用に関する研究」班

042-229 行政における HIV 事業への新型インフルエンザの影響について

中澤よう子¹⁾、八木下しのぶ²⁾、星野慎二³⁾、市川誠一⁴⁾

1) 神奈川県小田原保健福祉事務所、2) 神奈川県保健福祉部健康増進課、3) かながわレインボーセンター SHIP、4) 名古屋市立大学看護学院看護学研究科

一般演題

■日時:11月28日(土) 9:00~9:50

■会場:第2会場 (白鳥ホール(南))

O43 ソーシャルワーク

座長 岡本 学

(国立病院機構大阪医療センター)

伊賀陽子

(兵庫医科大学病院)

O43-230 暮らしから見えてきたHIV患者さんとの関わり～その2～

下畝正博

株式会社ひかり倶楽部／特定非営利活動法人 Hands

O43-231 HIV/AIDS 患者の治療を支える医療保障制度の活用及び自立支援に向けての実態調査

小澤あかね^{1,2)}、池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、大金美和¹⁾、武田謙治¹⁾、山田由紀¹⁾、石垣今日子¹⁾、八鍬類子¹⁾、伊藤 紅^{1,2)}、徐 廷美¹⁾、三枝政行³⁾、芳田玲子³⁾、湯永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 国立国際医療センター戸山病院総合医療相談室

O43-232 HIV 陽性者支援の現状と課題—HIV 陽性者以外の支援と比較して—

中澤知早子、藤村洋子、見元 尚、武内世生

高知大学医学部附属病院エイズ医療対策チーム

O43-233 HIV ソーシャルワークにおける地域連携活動に関する因子の分析

田中千枝子

日本福祉大学

O43-234 「HIV 陽性者やその周囲の人への相談サービス」についての分析—専門家からの相談・連絡について—

福原寿弥¹⁾、牧原信也¹⁾、大槻知子²⁾、

生島 嗣¹⁾、池上千寿子¹⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、2) 財団法人エイズ予防財団

■日時:11月28日(土) 10:00~11:00

■会場:第2会場 (白鳥ホール(南))

O44 陽性者支援 1

座長 服部健司

(群馬大学大学院医学系研究科医学哲学・倫理学)

若林チヒロ

(埼玉県立大学保健医療福祉学部)

O44-235 HIV 陽性者スピーカー派遣プログラム

高久陽介^{1,2)}、長谷川博史²⁾、矢島 嵩^{2,3)}、長野耕介²⁾

1) 財団法人エイズ予防財団、2) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス、3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

O44-236 HIV 陽性者のための学術集会参加支援プログラムの取り組みと、そのニーズと効果についての考察

大槻知子¹⁾、柿沼章子³⁾、高久陽介^{1,4)}、大平勝美³⁾、長谷川博史⁴⁾、生島 嗣²⁾

1) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント、2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団、4) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

O44-237 地域に即した新 HIV 陽性者対象のプログラム開発について

岳中美江^{1,2,3)}、柏木瑛信¹⁾、大野まどか¹⁾、伊達直弘¹⁾、野坂祐子¹⁾、矢島 嵩^{1,4)}、生島 嗣^{1,4)}、市川誠一⁵⁾

1) 陽性者サポートプロジェクト関西 (POSP)、2) 財団法人エイズ予防財団、3) CHARM、4) ぶれいす東京、5) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

O44-238 沖縄県における自立困難患者の療養環境整備に関して

宮城京子¹⁾、石川章子¹⁾、石郷岡美穂¹⁾、仲程ひろみ²⁾、嘉数光一郎²⁾、向井三穂子³⁾、椎木創一³⁾、佐久川あや子⁴⁾、健山正男¹⁾、藤田次郎¹⁾

1) 琉球大学医学部附属病院、2) 沖縄県立南部医療センター、3) 沖縄県立中部病院、4) 沖縄県中央保健所

一般演題

044-239 HIV 陽性者の「社会とのつながり」に関する検討 —web 調査への回答データから—

井上洋士¹⁾、矢島 嵩²⁾、高久陽介^{3,4)}、
生島 嗣²⁾、長谷川博史³⁾、長野耕介³⁾

1) 放送大学、2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、3) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス、4) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

044-240 支援者のグループ・インタビューを通して —HIV 陽性者等への支援に関する困難さの考察—

生島 嗣¹⁾、野坂祐子²⁾、兵藤 智佳³⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、2) 大阪教育大学、
3) 早稲田大学

■日時:11月28日(土) 11:00~12:00

■会場:第2会場 (白鳥ホール(南))

045 陽性者支援 2

座長 生島 嗣

(ぶれいす東京)

森田眞子

(国立病院機構大阪医療センター)

045-241 エイズ電話相談記録票にみる、クライアントの背景とニーズの検討 —ぶれいす東京エイズ電話相談のケースから—

岩橋恒太^{1,2,3)}、佐藤郁夫²⁾、足立惟子²⁾、
深見龍子²⁾、染谷太恵²⁾、白幡素子²⁾、
阿曾義文²⁾、丸井淑美²⁾、大槻知子^{2,4)}、
生島 嗣²⁾

1) 慶應義塾大学、2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、
3) 財団法人エイズ予防財団流動研究員、4) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

045-242 エイズ電話相談員が相談現場で今、経験していることの検討 —ぶれいす東京エイズ電話相談のケースから—

佐藤郁夫¹⁾、岩橋恒太^{1,2,4)}、足立惟子¹⁾、
深見龍子¹⁾、染谷太恵¹⁾、白幡素子¹⁾、
阿曾義文¹⁾、丸井淑美¹⁾、大槻知子^{1,3)}、
生島 嗣¹⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、2) 財団法人エイズ予防財団流動研究員、3) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント、4) 慶應義塾大学

045-243 りょうちゃんずにおけるピア相談事業からの考察

藤原良次、早坂典生、椎村和義、橋本則久

りょうちゃんず

045-244 地域の相談機関における HIV 陽性者への相談対応に関する調査

生島 嗣¹⁾、大塚理加²⁾、大槻知子³⁾、
本橋 宏一⁴⁾、大木 幸子⁵⁾、山本 博之⁶⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、2) 東京都老人総合研究所、3) 財団法人エイズ予防財団、4) 明治学院大学大学院、5) 杏林大学、6) 東京福祉大学

045-245 大阪における陽性者を対象とした電話相談の現状

岳中美江^{1,2,3)}、岡本 学¹⁾、生島 嗣^{1,4)}、
市川誠一⁵⁾

1) 陽性者サポートプロジェクト関西 (POSP)、2) 財団法人エイズ予防財団、3) CHARM、4) ぶれいす東京、5) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

045-246 HIV 陽性者のための相談サービスに関する考察

牧原信也¹⁾、福原寿弥¹⁾、生島 嗣¹⁾、
神原奈緒美¹⁾、野坂祐子²⁾、池上千寿子¹⁾、
大槻知子³⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、2) 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター、3) 財団法人エイズ予防財団

一般演題

■日時:11月28日(土) 13:00~14:00

■会場:第2会場 (白鳥ホール(南))

O46 就労支援

座長 岳中美江

(財団法人エイズ予防財団/CHARM)

伊藤美樹子

(大阪大学大学院医学系研究科総合ヘルスプロモーション科学講座)

O46-247 HIVに係る障害者の社会参加に係る偏見と差別不安解消と自立支援の在り方に関する調査研究(第一報) —社会参加および自立の阻害要因の明確化—

久地井寿哉^{1,2)}、後藤智己¹⁾、大宮朋子²⁾、
島田 恵³⁾、池田和子³⁾、石谷誓子²⁾、
岩野友里¹⁾、柿沼章子¹⁾、山崎喜比古²⁾、
岡 慎一³⁾、大平勝美¹⁾

1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団、2) 東京大学大学院医学系研究科、3) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

O46-248 HIVに係る障害者の社会参加に係る偏見と差別不安解消と自立支援の在り方に関する調査研究(第二報) —当事者のHIV/AIDS感染に関する病い経験・認知の変化—

後藤智己¹⁾、久地井寿哉^{1,2)}、大宮朋子²⁾、
島田 恵³⁾、池田和子³⁾、石谷誓子²⁾、
岩野友里¹⁾、柿沼章子¹⁾、山崎喜比古²⁾、
岡 慎一³⁾、大平勝美¹⁾

1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団、2) 東京大学大学院医学系研究科、3) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

O46-249 HIVに係る障害者の社会参加に係る偏見と差別不安解消と自立支援の在り方に関する調査研究(第三報) —職場における疾患名開示に関する検討—

大宮朋子¹⁾、久地井寿哉^{1,2)}、後藤智己²⁾、
島田 恵³⁾、池田和子³⁾、石谷誓子¹⁾、
岩野友里²⁾、柿沼章子²⁾、山崎喜比古¹⁾、
岡 慎一³⁾、大平勝美²⁾

1) 東京大学大学院医学系研究科、2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団、3) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

O46-250 HIV陽性者の就労をめぐる状況と薬物使用に関するインタビュー調査から

野坂祐子¹⁾、生島 嗣²⁾

1) 大阪教育大学、2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

O46-251 HIV陽性者の社会生活に関する全国実態調査第1報:世帯・家計と健康管理

若林チヒロ¹⁾、生島 嗣²⁾、岡本 学³⁾、
春名由一郎⁴⁾、鎌倉光宏⁵⁾、飯島美世子⁶⁾、
新村洋未¹⁾、加藤朋子¹⁾、伊藤三千代⁷⁾、
横山由香里⁷⁾、大槻知子^{2,8)}

1) 埼玉県立大学保健医療福祉学部、2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、3) 国立病院機構大阪医療センター、4) 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター、5) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科、6) 独立行政法人労働者健康福祉機構東京産業保健推進センター、7) 東京大学大学院医学系研究科、8) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

O46-252 HIV陽性者の社会生活に関する全国実態調査第2報:就労・社会活動とエイズ対策評価

生島 嗣¹⁾、若林チヒロ²⁾、岡本 学³⁾、
鎌倉光宏⁴⁾、飯島美世子⁵⁾、春名由一郎⁶⁾、
大槻知子^{1,7)}、加藤朋子²⁾、新村洋未²⁾、
横山 由香里⁸⁾、伊藤三千代⁸⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、2) 埼玉県立大学保健医療福祉学部、3) 国立病院機構大阪医療センター、4) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科、5) 独立行政法人労働者健康福祉機構東京産業保健推進センター、6) 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター、7) 財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント、8) 東京大学大学院医学系研究科

■日時:11月28日(土) 14:10~14:40

■会場:第2会場 (白鳥ホール(南))

O47 外国人支援

座長 小堀栄子

(長崎大学熱帯医学研究所)

O47-253 旭中央病院における外国人HIV患者の特徴とその転帰について

南宮 湖¹⁾、神戸敏行¹⁾、高山美津子²⁾、
平野陽一郎²⁾、中村 朗¹⁾

1) 総合病院国保旭中央病院内科、2) 総合病院国保旭中央病院医療相談室

O47-254 豊橋市民病院におけるHIV/AIDS診療

山本景三

豊橋市民病院感染症管理センター

一般演題

O47-255 NGOと連携した一診療所での外国人HIV陽性者初診時CD 4 の変遷

沢田貴志¹⁾、李 祥任²⁾、川田 薫³⁾、
富田 茂¹⁾、仲尾唯治⁴⁾

1) 港町診療所、2) 国際保健協力市民の会、3) アフリカ日本協議会、4) 山梨学院大学経営情報学部

■日時:11月28日(土) 9:00~10:00

■会場:第3会場 (国際会議室)

O48 悪性腫瘍 1

座長 岡田誠治

(熊本大学エイズ学研究センター予防開発分野)

上田幹夫

(石川県立中央病院血液内科)

O48-256 当科で経験した AIDS 関連悪性リンパ腫 56 例における神経系病変の検討

柳沢邦雄¹⁾、田沼順子¹⁾、水島大輔¹⁾、
中村春香¹⁾、青木孝弘¹⁾、西島 健¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、渡邊珠代¹⁾、本田元人¹⁾、
矢崎博久¹⁾、塚田訓久¹⁾、本田美和子¹⁾、
照屋勝治¹⁾、潟永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾、萩原将太郎²⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 国立国際医療センター戸山病院血液内科

O48-257 難治性・再発性 AIDS 関連リンパ腫の後方視的解析

萩原将太郎¹⁾、田沼順子²⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立国際医療センター血液内科、2) 国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター

O48-258 AIDS 関連リンパ腫における抗 HIV 療法の必要性

笹川 淳、前田裕弘、平瀬主税、山口晃史、
森田泰慶、金丸昭久

近畿大学医学部付属病院血液内科

O48-259 HIV associated plasmablastic lymphoma の再発に対して自己末梢血幹細胞移植併用の大量化学療法を施行した 1 例

後藤裕樹¹⁾、美山貴彦¹⁾、柳沢邦雄²⁾、
平井理泉¹⁾、照屋勝治²⁾、萩原将太郎¹⁾、
岡 慎一²⁾、三輪哲義¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院血液内科、2) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療研究開発センター

O48-260 HIV 感染症に合併し、ABVd 療法が有効であったホジキンリンパ腫の一例

蟹沢 充、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、
味澤 篤

東京都立駒込病院感染症科

O48-261 HAART 導入 1 年半後に CD4 数の減少を来とし、Diffuse Large B-cell Lymphoma (DLBCL) と診断された一例

鯉淵智彦¹⁾、今井健太郎¹⁾、菊地 正¹⁾、
古賀道子²⁾、中村仁美²⁾、三浦聡之²⁾、
藤井 毅¹⁾、岩本愛吉^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科、2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

■日時:11月28日(土) 10:00~10:50

■会場:第3会場 (国際会議室)

O49 悪性腫瘍 2

座長 山本政弘

(国立病院機構九州医療センター免疫感染症科/感染症対策室)

永井宏和

(国立病院機構名古屋医療センター血液・腫瘍研究部)

O49-262 CD4 高値で脳表に多発する出血を伴う腫瘍性病変を呈し診断に苦慮したエイズ関連 T 細胞性原発性中枢神経リンパ腫の一例

四本美保子、村松 崇、清田育男、
大瀧 学、藤田 進、鈴木隆幸、天野景裕、
香川和彦、山元泰之、福武勝幸

東京医科大学病院

O49-263 化学療法とともに抗 HBV 薬および HAART 療法を併用した AIDS 関連リンパ腫の一例

岩崎純子¹⁾、橋野 聡¹⁾、髭 修平¹⁾、
浅香正博¹⁾、助川隆士³⁾、千葉広司²⁾、
柿木康孝²⁾、福原 敬²⁾、三宅高義²⁾

1) 北海道大学病院第三内科、2) 市立旭川病院血液内科、
3) 市立旭川病院消化器科

O49-264 HIV 感染症に合併した Multicentric castleman disease の 3 例についての臨床的検討

浅畑さやか、柳澤如樹、菅沼明彦、
今村顕史、味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院

一般演題

O49-265 免疫再構築により悪性リンパ腫を発症し、カポジ肉腫の再燃を繰り返した一例

矢嶋敬史郎、富成伸次郎、小川吉彦、坂東裕基、谷口智宏、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O49-266 内臓病変を有する HIV 関連カポジ肉腫の治療と転帰に関する臨床的検討

関谷紀貴、今村顕史、柳澤如樹、菅沼明彦、味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院

■日時:11月28日(土) 11:00~11:30

■会場:第3会場 (国際会議室)

O50 妊婦検査・HIV感染

座長 塚原優己

(国立成育医療センター周産期診療部産科)

和田裕一

(国立病院機構仙台医療センター)

O50-267 妊婦に対する HIV スクリーニング検査実施率の推移および他の感染症検査との比較

吉野直人^{1,2)}、喜多恒和²⁾、熊谷晴介²⁾、丹野高三²⁾、伊藤由子²⁾、高橋尚子²⁾、外川正生²⁾、塚原優己²⁾、戸谷良造²⁾、稲葉憲之²⁾、和田裕一²⁾

1) 岩手医科大学医学部細菌学講座、2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班

O50-268 妊婦 HIV 感染診断の一方式—妊婦 HIV スクリーニングの高い偽陽性率を踏まえて—

林田志峯^{1,2)}、林田和郎¹⁾、林田綾子^{1,2)}、稲葉憲之²⁾、稲葉不知之^{1,2)}、大島教子²⁾、和田裕一³⁾

1) はやしだ産婦人科医院、2) 獨協医科大学医学部産婦人科、3) 国立病院機構仙台医療センター産婦人科

O50-269 HIV 感染した母親の出産後の心理的状況の変化と支援の検討

大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾、久米美代子²⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 東京女子医科大学大学院看護学研究科

■日時:11月28日(土) 13:00~14:10

■会場:第3会場 (国際会議室)

O51 歯科診療

座長 前田憲昭

(医療法人社団皓歯会)

高木律男

(新潟大学大学院医歯学総合研究科／顎顔面口腔外科学分野)

O51-270 HIV 感染患者の歯科診療実態調査

前田憲昭¹⁾、的野 慶¹⁾、北川善政²⁾、佐藤 淳²⁾、山口 泰³⁾、池田正一⁴⁾、柿澤 卓⁵⁾、田上 正⁶⁾、高木律男⁷⁾、池野 良⁷⁾、澤木佳弘⁸⁾、宮田 勝⁹⁾、連 利隆¹⁰⁾、吉野 宏¹¹⁾、吉川博政¹²⁾、溝部潤子¹³⁾、中川裕美子⁶⁾

1) 医療法人社団皓歯会、2) 北海道大学、3) 国立病院機構仙台医療センター、4) 神奈川歯科大学、5) 東京歯科大学、6) 国立国際医療センター、7) 新潟大学、8) 国立病院機構名古屋医療センター、9) 大阪市立総合医療センター、10) 石川県立中央病院、11) 広島大学病院、12) 国立病院機構九州医療センター、13) 神戸常盤大学

O51-271 HIV 感染者歯科診療ネットワーク会議報告

—第2報:長野県(平成20年度)愛知県(平成21年度)—

前田憲昭¹⁾、溝部潤子²⁾、高木律男³⁾、田邊嘉也³⁾、児玉泰光³⁾、池野 良³⁾、澤木佳弘⁴⁾、濱口元洋⁴⁾

1) 医療法人社団皓歯会、2) 神戸常盤大学短期大学部、3) 新潟大学大学院医歯学総合研究科、4) 国立病院機構名古屋医療センター

O51-272 石川県内における HIV 歯科医療の連携に関するアンケート調査と今後の課題

宮田 勝¹⁾、高木純一郎¹⁾、能島初美²⁾、山本裕佳²⁾、山田三枝子³⁾、辻 典子³⁾、上田幹夫⁴⁾、前田憲昭⁵⁾

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科、2) 石川県立中央病院歯科技術室、3) 石川県立中央病院 HIV 情報室・財団法人エイズ予防財団、4) 石川県立中央病院血液内科、5) 医療法人社団皓歯会

一般演題

051-273 当院歯科口腔外科に初診で来院したHIV感染者の調査

千葉 緑¹⁾、茂木伸夫¹⁾、池上由美子¹⁾、
浅野義雄¹⁾、味澤 篤²⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院歯科口腔外科、2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

051-274 地方自治体における HIV/AIDS 感染症 歯科医療体制整備に関する現況

秋野憲一¹⁾、前田憲昭²⁾、遠藤浩正³⁾

1) 北海道空知保健福祉事務所保健福祉部、2) 医療法人社団皓歯会阪急グランドビル診療所、3) 埼玉県保健医療部健康づくり支援課

051-275 HIV 感染者の歯科診療に関する研修で 求められる情報、必要とされる情報に ついての検討

筑丸 寛¹⁾、上田敦久²⁾、松井義郎¹⁾、
小森康雄³⁾、泉福英信⁴⁾、金子明寛⁵⁾、
池田正一⁶⁾、白井 輝⁷⁾、石ヶ坪良明²⁾、
藤内 祝¹⁾

1) 横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学、
2) 横浜市立大学附属病院リウマチ血液感染症内科、3) 東京医科大学医学部口腔外科学講座、4) 国立感染症研究所細菌第一部、5) 東海大学医学部外科学系口腔外科、6) 神奈川県川崎大学附属横浜研修センター総合歯科学講座、7) 横浜市立大学医学部看護学科

051-276 唾液中 HIV - 1 濃度が血液中よりも高 かった 3 症例

村山正晃¹⁾、池野 良¹⁾、児玉泰光¹⁾、
川口 玲⁴⁾、田邊 嘉也²⁾、加藤真吾³⁾、
高木律男¹⁾

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野、2) 新潟大学医歯学総合病院第二内科、3) 慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室、4) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部

■日時:11月28日(土) 13:00~14:10

■会場:第4会場 (会議室431+432)

052 在宅療養支援

座長 小西加保留

(関西学院大学人間福祉学部)

大金美和

(国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター)

052-277 チーム医療における看護師の役割 —情報漏洩に対する不安により治療遅 延となった事例から患者主体の関わり を考える—

村元祐子、斉藤聡子、金森美香、山口悦子、
宮城島拓人

労働者健康福祉機構釧路労災病院

052-278 在宅療養が早期に可能となった退院調 整を振り返って —独居のADL低下をきたした患者の 事例を通して—

柴崎智代子¹⁾、宇野幸枝¹⁾、小寺みぎわ²⁾、
鈴木かおる³⁾、一條加代子⁴⁾、中村 朗¹⁾

1) 国保旭中央病院、2) 訪問看護みぎわ、3) ホームケア旭、4) ロザリオ訪問介護

052-279 在宅療養支援診療所との連携により在 宅療養が可能であった一例

外島正樹¹⁾、小島好子²⁾、鶴岡浩樹³⁾

1) 自治医大臨床感染症センター感染症科、2) 自治医大病院医療福祉相談室、3) つるかめ診療所

052-280 外国籍 HIV/AIDS 患者に対する在宅療 養支援の考察

伊藤 紅^{1,2)}、池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、
大金美和¹⁾、武田謙治¹⁾、山田由紀¹⁾、
石垣今日子¹⁾、八鍬類子¹⁾、徐 廷美¹⁾、
菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター、2) 財団法人エイズ予防財団

052-281 HIV/AIDS 患者における訪問看護師と の連携事例に関する考察

八鍬類子¹⁾、伊藤 紅^{1,2)}、池田和子¹⁾、
島田 恵¹⁾、徐 廷美¹⁾、石垣今日子¹⁾、
山田由紀¹⁾、武田謙治¹⁾、大金美和¹⁾、
菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療研究開発センター、2) 財団法人エイズ予防財団

052-282 長期療養支援の現状と課題 —横浜市立市民病院の場合—

宮林優子、奥村貴美子、永井和美、杉山直美
横浜市立市民病院看護部

052-283 要介護患者の退院支援困難事例における実践モデルの試み

小西加保留¹⁾、石川雅子²⁾、島田 恵³⁾

1) 関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科、2) 千葉県健康福祉部、3) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

■日時:11月28日(土) 9:00~10:10

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O53 副作用 1

座長 南 留美

(国立病院機構九州医療センター免疫感染症科)

立川夏夫

(横浜市立市民病院感染症内科)

053-284 日本人患者における Tenofovir disoproxil fumarate による腎機能障害

西島 健、水島大輔、中村春香、青木孝弘、
柳沢邦雄、渡辺恒二、渡邊珠代、本田元人、
矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、
本田美和子、潟永博之、照屋勝治、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

053-285 Tenofovir 長期投与における腎機能の評価 (第3報)

吉野宗宏¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、桑原 健²⁾、
小川吉彦³⁾、坂東裕基³⁾、矢嶋敬史郎³⁾、
笠井大介³⁾、谷口智宏³⁾、富成伸次郎³⁾、
渡邊 大³⁾、西田恭治³⁾、上平朝子³⁾、
白阪琢磨³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科、2) 国立病院機構京都病院内科、3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

053-286 HIV/HBV 重複感染において TDF/FTC, EFV 開始後に無顆粒球症を発症した1例

中村春香、堀場昌英

国立病院機構東埼玉病院呼吸器内科

053-287 抗 HIV 治療薬開始後に薬剤相互作用による治療抵抗性の血圧変動を合併した1症例

北沢貴利¹⁾、後藤耕司¹⁾、白井雅弓²⁾、
神村麻穂子¹⁾、岡本 耕¹⁾、龍野桂太¹⁾、
貫井陽子¹⁾、阿部克俊¹⁾、畠山修司¹⁾、
新谷良澄¹⁾、四柳 宏¹⁾、小池和彦¹⁾

1) 東京大学医学部附属病院感染症内科、2) 東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科

053-288 HIV 感染者における脈波伝播速度の変化—5年間の観察—

古西 満¹⁾、善本英一郎²⁾、宇野健司¹⁾、
片浪雄一¹⁾、忽那賢志¹⁾、小川 拓¹⁾、
中川智代³⁾、米川真輔⁴⁾、前田光一¹⁾、
三笠桂一¹⁾

1) 奈良県立医科大学感染症センター、2) 奈良厚生会病院感染制御室、3) 大阪市立総合医療センター感染症センター、4) 済生会中和病院内科

053-289 ART 初回導入した ABC、TDF 使用症例の血清脂質の経時的変化について

菊地 正¹⁾、古賀道子²⁾、鯉渕智彦¹⁾、
今井健太郎¹⁾、中村仁美²⁾、三浦聡之²⁾、
小田原 隆²⁾、藤井 毅¹⁾、岩本愛吉^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科、2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

053-290 抗 HIV 療法の脂質代謝に及ぼす影響—頸動脈プラーク (IMT) と内臓脂肪面積の評価を含めて—

林 栄治、今村茂樹、平井愛山

千葉県立東金病院内科

■日時:11月28日(土) 10:20~11:20

■会場:第5会場 (会議室141+142)

O54 副作用 2

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)

平野 淳

(国立病院機構名古屋医療センター薬剤科)

054-291 アタザナビル内服開始後8ヶ月で尿管結石を発症した1例

小川孔幸¹⁾、馬渡桃子²⁾、合田 史³⁾、
内海英貴¹⁾、野島美久¹⁾

1) 群馬大学医学部附属病院生体統御内科、2) 国立病院機構西群馬病院内科、3) 国立病院機構高崎病院内科

一般演題

O54-292 HAART 療法中に経験した一時的な神経症状

関 義信¹⁾、桑原武夫²⁾

1) 新潟県立新発田病院内科、2) 新潟県立新発田病院 神経内科

O54-293 エファビレンツ投与患者における治療継続と中断に関する検討

吉野宗宏¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、桑原 健²⁾、
小川吉彦³⁾、坂東裕基³⁾、矢嶋敬史郎³⁾、
笠井大介³⁾、谷口智宏³⁾、富成伸次郎³⁾、
渡邊 大³⁾、西田恭治³⁾、上平朝子³⁾、
白阪琢磨³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科、2) 国立病院機構
構南京都病院薬剤科、3) 国立病院機構大阪医療センター感染
症内科

O54-294 EFV、FPV で 2 度の薬剤過敏症を経験し、RAL+LPV/r へ切り替えにより治療成功した 1 例

和田秀穂¹⁾、藤本 亘²⁾、徳永博俊¹⁾、
杉原 尚¹⁾

1) 川崎医科大学血液内科、2) 川崎医科大学皮膚科

O54-295 ST 合剤の減感作療法後に Toxic epidermal necrolysis をきたした肺結核合併 AIDS の 1 例

阪下健太郎¹⁾、宮本 牧¹⁾、村田研吾¹⁾、
和田曉彦¹⁾、高森幹雄¹⁾、藤田 明¹⁾、
天野寛之²⁾、畠山修司³⁾、味澤 篤⁴⁾

1) 東京都立府中病院呼吸器科、2) 千葉大学医学部医学研究
科加齢呼吸制御学講座、3) 東京大学医学部附属病院感染
症内科、4) 東京都立駒込病院感染症科

O54-296 ペンタミジンによる低血糖が長期間遷延した AIDS 患者の 1 例

今井健太郎¹⁾、前田卓哉¹⁾、菊地 正¹⁾、
宮崎葉穂子^{3,4)}、鯉淵智彦¹⁾、古賀道子²⁾、
中村仁美²⁾、三浦聡之²⁾、藤井 毅¹⁾、
岩本愛吉^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科、2) 東京
大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野、3) 東
京大学医科学研究所附属病院薬剤部、財団法人エイズ予防
財団

■日時:11月28日(土) 9:00~10:00

■会場:第6会場(会議室131+132)

O55 臨床検査 1

座長 山元泰之

(東京医科大学病院臨床検査医科学)

渡邊 大

(国立病院機構大阪医療センター)

O55-297 新規リアルタイム PCR 法(アキュジーン m-HIV-1)による HIV-1 RNA 量測定 of 検討

土屋亮人、潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

O55-298 血中 HIV-1 RNA 量測定キット TaqMan HIV-1「オート」の精度向上のための検討

四本美保子¹⁾、山元泰之¹⁾、鈴木隆史¹⁾、
清田育男¹⁾、大瀧 学¹⁾、藤田 進¹⁾、
天野景裕¹⁾、香川和彦¹⁾、松山和弘²⁾、
横溝 勉²⁾、福武勝幸¹⁾

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科、2) ロシュ・ダイア
グノスティックス

O55-299 コバス TaqManHIV-1 での RNA 定量値がアンプリコア HIV-1 モニターに比べ 100 倍以上低値であった症例の解析

近藤真規子¹⁾、須藤弘二²⁾、佐野貴子¹⁾、
倉井華子³⁾、立川夏夫³⁾、相楽裕子³⁾、
岩室紳也⁴⁾、加藤真吾²⁾、今井光信^{1,5)}

1) 神奈川県衛生研究所微生物部、2) 慶應義塾大学医学部
微生物学・免疫学教室、3) 横浜市立市民病院、4) 厚木市立
病院、5) 田園調布学園大学

O55-300 ポアソン分布式を用いた血中の HIV-1 RNA 量の定量

田中理恵、加藤真吾

慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

O55-301 脳血流 SPECT で大脳基底核に血流低下を認め、早期 HAART 導入により速やかな改善が得られた高 IL-18 血症を伴う急性 HIV 感染症

和田秀穂¹⁾、大澤 裕²⁾、砂田芳秀²⁾、
徳永博俊¹⁾、杉原 尚¹⁾

1) 川崎医科大学血液内科、2) 川崎医科大学神経内科

一般演題

O55-302 当院における新規未治療感染患者における BED assay 解析結果の検討

須田昭子¹⁾、上田敦久¹⁾、安達理恵²⁾、
竹林早苗²⁾、小田みどり²⁾、松山奈央²⁾、
筑丸 寛³⁾、白井 輝⁴⁾、石ヶ坪良明¹⁾

1) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科、2) 横浜市立大学附属病院看護部、3) 横浜市立大学附属病院口腔外科、4) 横浜市立大学附属病院 看護科

■日時:11月28日(土) 10:00~10:50

■会場:第6会場 (会議室131+132)

O56 臨床検査 2

座長 近藤真規子

(神奈川県衛生研究所)

須田昭子

(横浜市立大学附属病院リウマチ・血液感染症内科)

O56-303 BED アッセイを用いた HIV 感染の傾向解析

林田庸総、湯永博之、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

O56-304 抗 HIV 抗体量により感染時期を推測するための検査法の検討

佐野貴子¹⁾、西大條文一²⁾、井戸田一郎³⁾、
須藤弘二⁴⁾、加藤真吾⁴⁾、近藤真規子¹⁾、
今井光信¹⁾

1) 神奈川県衛生研究所、2) 丹羽クリニック、3) しらかば診療所、4) 慶応義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

O56-305 HIV 感染者の初診時スクリーニング脳 MRI 検査の有用性に関する検討

富成伸次郎、小川吉彦、坂東裕基、
矢嶋敬史郎、谷口智宏、笠井大介、
渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O56-306 HAART によるオステオポンチンの誘導の意義に関する検討

Haorile Chagan-Yasutan、齋藤弘樹、
芦野有悟、児玉栄一、服部俊夫

東北大学大学院医学系研究科

O56-307 HIV 感染者の腎機能評価とシスタチン C の有用性に関する検討

木内 英、小島賢一、和田育子、石倉美緒、
花房秀次

荻窪病院血液科

■日時:11月28日(土) 11:00~11:30

■会場:第6会場 (会議室131+132)

O57 服薬支援

座長 畠井浩子

(広島大学病院薬剤部)

O57-308 都立駒込病院における抗 HIV 療法服薬支援の現状と課題 —服薬開始・変更から 1 年後までの評価—

野本和美¹⁾、関矢早苗¹⁾、佐野俊彦²⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院看護部、2) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科

O57-309 当院外来における HAART 及び併用薬剤の検討

圓岡大典¹⁾、石曾根好雅¹⁾、蟻川 勝¹⁾、
根本 満¹⁾、永井英明²⁾

1) 国立病院機構東京病院薬剤科、2) 国立病院機構東京病院呼吸器科

O57-310 “治療の個別化”を重視した HAART 療法の実施

上田あすか¹⁾、森 尚義¹⁾、谷口晴記²⁾

1) 三重県立総合医療センター薬剤部、2) 三重県立総合医療センター産婦人科

一般演題

■日時:11月28日(土) 13:00~14:00

■会場:第6会場 (会議室131+132)

O58 臨床薬理 1

座長 吉野宗宏

(国立病院機構大阪医療センター薬剤科)

味澤 篤

(がん感染症センター都立駒込病院)

O58-311 Efavirenz の剤型変更に伴う血中濃度の変化及び副作用に関する検討

矢倉裕輝¹⁾、吉野宗宏¹⁾、小川吉彦²⁾、坂東裕基²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、谷口智宏²⁾、富成伸次郎²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾、桑原 健³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科、2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、3) 国立病院機構南京都病院薬剤科

O58-312 EFV 服薬中止後の血中濃度推移についての検討

奥村直哉¹⁾、寺畑奈美²⁾、安岡 彰³⁾、濱口元洋⁴⁾

1) 国立長寿医療センター薬剤部、2) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科、3) 長崎大学医学部・歯学部附属病院感染制御教育センター、4) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ・感染症診療部

O58-313 プリジスタ錠 300mg (ダルナビル) の日本人健康成人男子を対象とした薬物動態試験

大谷尚也、百々秀彦、中山慶一、小林 巧、塚本友子

ヤンセン ファーマ株式会社

O58-314 LC-MS による HIV 侵入阻害剤マラビロクスの血中濃度測定法の開発

高橋昌明^{1,2)}、平野 淳^{1,2)}、野村敏治^{1,2)}、金田次弘^{2,3)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科、2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、3) 金城学院大学薬学部

O58-315 Safety, Tolerability and Pharmacokinetics of ISENTRESSTM, a Novel HIV integrase strand transfer inhibitor, in Japanese Healthy Male Subjects.

青木郁夫¹⁾、田中宜之¹⁾、宮澤恵一郎¹⁾、今井康之¹⁾、大浦房子¹⁾、高橋健一¹⁾、Wenning Larissa²⁾

1) 萬有製薬株式会社臨床医薬研究所、2) Department of Clinical Pharmacology, Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, New Jersey

O58-316 投与量別に見た Fosamprenavir の血中濃度に関する検討

矢倉裕輝¹⁾、吉野宗宏¹⁾、小川吉彦²⁾、坂東裕基²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、谷口智宏²⁾、富成伸次郎²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾、桑原 健³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科、2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、3) 国立病院機構南京都病院薬剤科

■日時:11月28日(土) 14:00~15:00

■会場:第6会場 (会議室131+132)

O59 臨床薬理 2

座長 林 滋

(京都第一赤十字病院)

奥村直哉

(国立長寿医療センター薬剤部)

O59-317 HCVによる肝硬変合併HIV感染症例におけるFPVの血中濃度の検討

日笠真一¹⁾、門林宗男¹⁾、徳川多津子²⁾、澤田暁宏²⁾、日笠 聡²⁾

1) 兵庫医科大学病院薬剤部、2) 兵庫医科大学病院血液内科

O59-318 妊娠中・産褥期のロピナビル・リトナビル (LPV/r) 錠の薬物動態の検討から妊娠後期に適切に投与量を調整できた一例

小林裕幸¹⁾、松田秀雄²⁾、阿部信次郎³⁾、塚原優己⁴⁾、喜多恒和⁵⁾

1) 筑波大学水戸地域医療教育センター総合診療科、2) 防衛医科大学校病院産科婦人科、3) 自衛隊中央病院内科、4) 国立成育医療センター周産期診療部産科、5) 帝京大学医学部産婦人科学教室

一般演題

059-319 インテグラーゼ阻害剤ラルテグラビルとリファンピシンを併用した一症例

平野 淳¹⁾、高橋昌明¹⁾、寺畑奈美¹⁾、
木下枝里¹⁾、野村敏治¹⁾、脇坂達郎²⁾、
横幕能行²⁾、濱口元洋²⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科、2) 国立病院機構名古屋医療センター内科

059-320 抗 HIV 薬変更による薬物相互作用を考慮した抗てんかん薬の投与設計を行った一症例

藤田啓子¹⁾、畠井浩子¹⁾、太刀掛咲子¹⁾、
関野由希¹⁾、藤井輝久⁴⁾、齊藤誠司³⁾、
高橋昌明⁵⁾、平野 淳⁵⁾、高田 昇²⁾、
木村昭郎³⁾、木平健治¹⁾

1) 広島大学病院薬剤部、2) 広島大学病院エイズ医療対策室、3) 広島大学病院血液内科、4) 広島大学病院輸血部、5) 国立病院機構名古屋医療センター

059-321 ART 導入に際し抗てんかん薬ラモトリギンが有効であった HIV 感染症患者の一例

坂東裕基¹⁾、大谷成人²⁾、小川吉彦¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、谷口智宏¹⁾、富成伸次郎¹⁾、
笠井大介¹⁾、渡邊 大¹⁾、西田恭治¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、2) 兵庫医科大学病院血液内科

059-322 Warfarin と抗 HIV 薬併用症例の検討（続報、raltegravir 及び etravirine について）

水島大輔、本田元人、中村春香、青木孝弘、
西島 健、柳沢邦雄、渡辺恒二、渡邊珠代、
塚田訓久、矢崎博久、田沼順子、
本田美和子、潟永博之、照屋勝治、
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

■日時:11月28日（土） 15:10～15:50

■会場:第 6 会場（会議室131+132）

O60 薬剤師研修

座長 栗原 健

（国立病院機構京都病院）

O60-323 仙台医療センターにおける院外処方箋発行に向けての取り組み

佐藤麻希¹⁾、小住好子¹⁾、佐藤ともみ¹⁾、
後藤達也²⁾、諏江 裕¹⁾、猪狩徹也³⁾、
武藤 愛¹⁾、疋田美鈴¹⁾、佐藤愛子¹⁾、
小倉美緒¹⁾、早坂典生⁴⁾、伊藤俊広¹⁾、
佐藤 功^{1,5)}

1) 国立病院機構仙台医療センター、2) 国立病院機構盛岡病院、3) 宮城県薬剤師会会営調剤薬局、4) りょうちゃんず、5) 真壁病院

O60-324 東北 北海道（道東）地域の薬剤師の HIV/AIDS に対する意識調査（2009）

高橋道生¹⁾、小川芳範¹⁾、山形正裕¹⁾、
宮城島拓人²⁾

1) 独立行政法人労働者健康福祉機構釧路労災病院薬剤部、2) 独立行政法人労働者健康福祉機構釧路労災病院内科

O60-325 HIV 診療に関わる薬剤師のあり方について ―薬剤師研修会からの考察―

奥村直哉¹⁾、寺畑奈美²⁾、木下枝里²⁾、
濱口元洋³⁾

1) 国立長寿医療センター薬剤部、2) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科、3) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ・感染症診療部

O60-326 HIV 感染症薬物療法認定薬剤師研修施設としての取り組み

千田昌之¹⁾、増田純一¹⁾、中村真依¹⁾、
照屋勝治²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、
三上二郎¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院薬剤部、2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

一般演題

■日時:11月28日(土) 9:00~9:50

■会場:第7会場 (会議室133+134)

O61 宿主・遺伝子1

座長 明里宏文

(京都大学霊長類研究所)

徳永研三

(国立感染症研究所感染病理部エイズ研究センター)

■日時:11月28日(土) 10:00~10:50

■会場:第7会場 (会議室133+134)

O62 宿主・遺伝子2

座長 梁 明秀

(横浜市立大学大学院医学研究科分子生体防御学)

増田道明

(獨協医科大学医学部微生物学講座)

O61-327 Heat Shock Protein 70 の HIV-1 Vif による APOBEC3G 分解の抑制および APOBEC3G の HIV-1 粒子内への取り込み促進

杉山隆一¹⁾、西辻裕紀¹⁾、長沼晴樹¹⁾、
小関 寛¹⁾、古川亜矢子²⁾、永田 崇²⁾、
片平正人²⁾、羽生勇一郎³⁾、高久 洋¹⁾

1) 千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学専攻、2) 横浜市立大学 大学院 国際総合科学研究科、3) Dept. Microbiology, Immunology and Pathology, Colorado State University

O62-332 HIV 感染抑制因子 TRIM5 α の感染抑制機構の解析

中山英美、前川彦一郎、宮本 直、塩田達雄
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

O62-333 HIV-2 カプシドの 1 アミノ酸変異がもたらすウイルス増殖への影響

宮本 直、塩田達雄、中山英美
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

O61-328 Vif 依存的な APOBEC3G のユビキチン化部位と抗ウイルス作用

岩谷靖雅¹⁾、吉居廣朗^{1,2)}、柴田潤子^{1,3)}、
杉浦 亙¹⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、
2) 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団、3) 東京医科歯科大学大学院生命情報科学教育部

O62-334 Cyclophilins はエイズウイルストロピズムを規定する細胞内因子である

武内寛明、石井 洋、俣野哲朗
東京大学医科学研究所感染症国際研究センター

O61-329 抗 HIV-1 宿主因子 APOBEC3 ファミリーの発現調節に関する研究

吉居廣朗^{1,2)}、岩谷靖雅¹⁾、杉浦 亙^{1,3)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、
2) 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団、3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O62-335 異種動物細胞株を用いたヒト BST-2/Tetherin の機能比較研究

佐藤 佳、山元誠司、三沢尚子、小柳義夫
京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域

O61-330 APOBEC1 の抗 HIV-1 活性における責任部位の解析

池田輝政^{1,2)}、原田信志²⁾、小糸 厚¹⁾

1) 熊本大学 医学薬学研究部感染制御、2) 熊本大学医学薬学研究部感染防御

O62-336 宿主細胞内 miRNA による HIV-1 複製への影響

石橋啓介、野口耕世、三代川かおり、
帆刈まなみ、菅野敬行、高久 洋
千葉工業大学大学院工学研究科生命環境科学専攻

O61-331 ウサギ細胞での HIV 複製阻害への APOBEC1 分子の関与

Abd El Galil Khaled Hussein¹⁾、
池田輝政¹⁾、原田信志²⁾、小糸 厚¹⁾

1) 熊本大学医学薬学研究部感染制御学、2) 熊本大学医学薬学研究部感染防御学

一般演題

■日時:11月28日(土) 11:00~11:50

■会場:第7会場 (会議室133+134)

O63 宿主・遺伝子3

座長 増田貴夫

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野)

鈴 伸也

(熊本大学エイズ学研究センター予防開発分野)

O63-337 ヒトPBMCを用いたHIV-1 潜伏感染モデルの構築と解析

原 拓馬¹⁾、松田有加¹⁾、山岸 誠¹⁾、
三宅在子²⁾、石田尚臣³⁾、渡邊俊樹¹⁾

1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻病態医療科学分野、2) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野、3) 早稲田大学先進理工学部生命医科学科

O63-338 HIV-1 ゲノムアンチセンス鎖にコードするRNAの探索と機能解析

小林 美栄、原 拓馬、山岸 誠、
三宅在子、石田尚臣、渡邊俊樹

東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻病態医療科学分野

O63-339 HIV-1 インテグラーゼ相互作用因子Huwei1によるHIV-1の感染抑制

山元誠司¹⁾、大川克也²⁾、増田貴夫³⁾、
森川裕子⁴⁾、小柳義夫¹⁾、鈴木陽一⁵⁾

1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態、2) 協和発酵キリン次世代創薬研究所、3) 東京医歯科大学医歯学総合研究所免疫治療学分野、4) 北里大学北里生命科学研究科大学院感染制御科学府、5) 京都大学ウイルス研究所 宿主要因解析チーム

O63-340 HIV-1 感染過程におけるダイナミンの役割の解析

Promjunyakul Warunya、今村淳治、
Nath Roy Chandra、服部俊夫、鈴木康弘

東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染病態学分野

O63-341 HIV-1 潜伏化におけるPolycomb groupの機能解析

山岸 誠¹⁾、松田有加¹⁾、原 拓馬¹⁾、
三宅在子²⁾、鈴木一雄³⁾、石田尚臣⁴⁾、
渡邊俊樹¹⁾

1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻、2) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野、3) Centre for Immunology, St Vincent's Hospital, Australia、4) 早稲田大学先進理工学部 生命医科学科

■日時:11月28日(土) 13:00~14:00

■会場:第7会場 (会議室133+134)

O64 動物モデル

座長 金澤 智

(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

三浦智行

(京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究センター)

O64-342 変異株の固定確率—確率過程によるモデリング—

岩見真吾¹⁾、佐々木 顕²⁾、三浦智行³⁾

1) 科学技術振興機構さきがけ／東京大学大学院数理科学研究科、2) 総合研究大学院大学先端科学研究科、3) 京都大学ウイルス研究所

O64-343 HIV-1 由来のプロテアーゼ遺伝子を持つSHIV-prが持続感染したアカゲザルに対するRaltegravirを含む経口投与によるHAARTの効果

井戸栄治¹⁾、多田哲子¹⁾、岩元静香¹⁾、
石松美沙¹⁾、梅原 綾¹⁾、高橋昌明²⁾、
金田次弘²⁾

1) 京都大学ウイルス研究所新興ウイルス感染症研究センター、2) 国立病院機構名古屋医療センター

O64-344 サル細胞指向性HIV-1の細胞馴化による増殖適応変異の解析

野間口雅子¹⁾、土肥直哉¹⁾、藤原佐知¹⁾、
三宅在子¹⁾、横山 勝²⁾、大出裕高²⁾、
佐藤裕徳²⁾、足立昭夫¹⁾

1) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野、2) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

O64-345 第2世代サル指向性HIV-1クローンはカニクイザル個体において効率よく増殖する

齊藤 暁^{1,2)}、飯島沙幸²⁾、岩崎優紀²⁾、
黒石 歩³⁾、中山英美³⁾、塩田達雄³⁾、
足立昭夫⁴⁾、野間口雅子⁴⁾、俣野哲朗¹⁾、
明里宏文^{2,5)}

1) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター、2) 独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医学研究センター、3) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野、4) 徳島大学大学院微生物病原学、5) 京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター

一般演題

O64-346 長期感染における糖鎖欠失変異 SIV の病原性

森 一泰¹⁾、杉本智恵¹⁾、佐藤洋隆¹⁾、
渡辺 哲¹⁾、山本直樹¹⁾、永井美之³⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) Tulane National Primate Research Center、3) 国立感染症研究所

O64-347 SIVmac239 Env gp120 アスパラギン結合型糖鎖の宿主免疫応答に対する影響

松原明弘^{1,2)}、高村史記³⁾、草川 茂⁴⁾、
武部 豊⁴⁾、森 一泰^{1,4)}、永井美之⁵⁾、
保富康宏^{1,2)}

1) 独立行政法人医薬基盤研究所豊長類医科学研究センター、2) 三重大学大学院医学系研究科、3) 近畿大学医学部免疫学教室、4) 国立感染症研究所エイズ研究センター、5) 理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センター

■日時:11月28日(土) 14:10~15:10

■会場:第7会場 (会議室133+134)

O65 新薬

座長 星野忠次

(千葉大学薬学研究院)

児玉栄一

(東北大学病院内科・感染症科)

O65-348 次世代 HIV インテグラーゼ阻害剤: S/GSK1349572

関 貴弘¹⁾、森元千晶¹⁾、三木 茂¹⁾、
須山明美¹⁾、小林雅典¹⁾、吉永智一¹⁾、
佐藤彰彦¹⁾、藤原民雄²⁾

1) 塩野義製薬株式会社創薬研究所、2) 塩野義製薬株式会社医薬開発本部

O65-349 新規バイオ治療薬候補のヒト化マウス感染モデルを用いた評価:CCR5 指向性 HIV-1 感染細胞を選択的に破壊する組換えウイルス VSV

大隈 和¹⁾、田中礼子²⁾、田中勇悦²⁾

1) 国立感染症研究所血液・安全性研究部、2) 琉球大学大学院医学研究科免疫学分野

O65-350 Macrocytic 構造を有する新規プロテアーゼ阻害剤の抗 HIV-1 活性の検討

東條 靖¹⁾、こう康博¹⁾、天野 将之¹⁾、
Arun K Ghosh²⁾、満屋 裕明¹⁾

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部、2) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

O65-351 HIV プロテアーゼ阻害 (PI) 能とプロテアーゼ 2 量体形成阻害 (PDI) 能を有する新規化合物の同定と抗 HIV 活性の検討

井手一彦¹⁾、こう康博¹⁾、天野将之¹⁾、
Arun K Ghosh²⁾、満屋裕明¹⁾

1) 熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部、2) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

O65-352 酵母の膜結合 Gag-Gag 反応系で同定された HIV-1 Gag アセンブリー阻害剤

浦野恵美子^{1,2)}、倉持紀子³⁾、供田 洋³⁾、
武部 豊¹⁾、駒野 淳¹⁾、森川裕子²⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター、2) 北里大学大学院感染制御科学府、3) 北里大学薬学部

O65-353 架橋水および水和を利用する HIV プロテアーゼ阻害剤研究

日高興士¹⁾、Jeffrey-Tri Nguyen¹⁾、
濱田貴司¹⁾、安達基泰²⁾、黒木良太²⁾、
木村 徹¹⁾、木曾良明¹⁾

1) 京都薬科大学薬品化学分野、2) 日本原子力研究開発機構

■日時:11月28日(土) 15:20~16:20

■会場:第7会場 (会議室133+134)

O66 アクセサリー

座長 吉居廣朗

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

O66-354 マクロファージ特異的宿主因子を介した HIV-1 Nef の機能

鈴 伸也、日吉真照、Hassan Ranya、
Chutiwitoonchai Nopporn、岡田誠治

熊本大学エイズ学研究センター 予防開発分野

O66-355 Molecular basis for down – regulation of CD1 – molecules and their antigen presentation by HIV – 1 Nef in immature dendritic cells

新谷英滋、清水真澄、大脇敦子、渡邊恵理、松村次郎、八木幸恵、高久千鶴乃、高橋秀実

日本医科大学微生物学・免疫学教室

O66-356 CTL escape Nef variants influence CCR5 down regulation and HIV superinfection susceptibility in primary human macrophages

Mwimanzi Philip、上野貴将、滝口雅文

熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野

O66-357 HIV – 1 Tat と CyclinT1 の相互作用の解析

朝光かおり、日比悠里名、小林雄祐、岡本尚

名古屋市立大学大学院医学研究科

O66-358 HIV – 1 Vif は p53 を介してその機能を発揮する

泉 泰輔^{1,2)}、白川康太郎^{1,2)}、松井道志¹⁾、井尾克宏¹⁾、篠原正信¹⁾、内山 卓^{1,3)}、高折晃史¹⁾

1) 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 田附興風会医学研究所北野病院

O66-359 細胞極性制御キナーゼ aPKC による HIV – 1 Gag のリン酸化及びその生理的意義

高濱正吉¹⁾、澤崎達也¹⁾、岡山明子⁴⁾、赤木達也¹⁾、遠藤弥重太¹⁾、山本直樹²⁾、梁 明秀^{2,3)}

1) 愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター、2) 国立感染症研究所エイズ研究センター第1研究グループ、3) 横浜市立大学医学部微生物学講座、4) 横浜市立大学先端医科学研究センター